

令和4年4月28日

第5回 医療扶助に関する検討会

資料3

(報告事項)

被保護者健康管理支援事業における全国データ分析  
(NDBを活用した全国データ分析結果の概要)

ひと、暮らし、みらいのために



厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare

# 分析の概要

## ■ 目的

- 平成30年生活保護法改正により、被保護者の健康の保持及び増進を図るための「被保護者健康管理支援事業」が創設され、国は当該事業の実施に資するための調査及び分析を行い、保護の実施機関に対して当該結果を提供することが定められた。
- このため、本分析では、被保護者の医療の利用状況や健康状態の年齢別・地域別の概況を把握することを目的として、レセプト情報・特定健診等情報データベース(以下「NDB」という。)に収載されている電算処理分のレセプトを集計し、取りまとめた。

## ■ 分析内容

- 年齢階級別にみた医療扶助費の状況
- 地域別にみた医療扶助費の状況(地域差分析)
- 公的医療保険加入者との比較
- 糖尿病、高血圧症、脂質異常症(以下「3疾患」という。)の有病状況等

## ■ 対象データ

主な分析内容	対象レセプトの範囲	対象レセプトの保険種別	対象レセプトの期間
・ 年齢階級別にみた医療扶助費の状況	医科入院、医科入院外、DPC、調剤、歯科	医療扶助	令和元年4月～令和2年3月診療分
・ 地域別にみた医療扶助費の状況(地域差分析)	医科入院、医科入院外、DPC、調剤、歯科	医療扶助	令和元年4月～令和2年3月診療分
・ 公的医療保険加入者との比較			
- 受診者1人当たり件数・日数・医療費	医科入院、医科入院外、DPC、調剤、歯科	医療扶助、市町村国保、後期高齢者医療	令和元年6月審査分(4・5月診療分)※
- 受診者1人当たり傷病件数・医療機関数	医科入院、医科入院外		
- 調剤薬局利用者1人当たり医薬品種類数等	調剤		
・ 3疾患の有病状況等	医科入院外、調剤	医療扶助、市町村国保、後期高齢者医療	令和元年6月審査分(4・5月診療分)※

※ 受診者数の算出における1受診者への名寄せには精度上の課題がある。NDBのIDについては、「匿名化ID1N」では保険者の異動、「匿名化ID2」では医療機関での表記ゆれや姓の変更等により、同一患者であっても別のIDが付与されている場合があり、特に1年間の集計においては、同一患者を重複カウントしている可能性がある。このため、6月審査分を用いて集計を行った。

## ■ 集計方法

### ○ 年齢階級別・地域別にみた医療扶助費の状況

- 医療扶助単独レセプト※から、診療種別計／入院／入院外／歯科ごとに、レセプト件数、診療実日数、医療費を求め、年齢階級別、都道府県別に算出した。  
※ 以下の条件を満たすものを「医療扶助単独レセプト」とした(以下、電子レセプトのレセプト共通コードを「RELコード」、保険者コードを「HOLコード」、公費コードを「KOLコード」という。)
  - KOLコード内の「負担者番号(公費負担者番号)に法別番号が「12」となる公費負担者番号の記載があること。
  - 同一レセプト内にHOLコードが存在しないこと。
  - 同一レセプト内に他のKOLコードが存在しないこと。
- 都道府県単位の集計は、算出結果に基づき、1人当たり実績医療費／年齢調整後医療費、診療種別寄与度、年齢階級別寄与度、疾病分類別寄与度、三要素別寄与度を計算した。算出方法は、厚生労働省保険局調査課「令和元年度医療費(電算処理分)の地域差分析」に準じて実施した。

### ○ 公的医療保険加入者との比較

#### <受診者1人当たり件数・日数・医療費>

- 医療扶助単独／市町村国保／後期高齢者医療に該当するレセプト※から、診療種別計／入院／入院外／歯科ごとに、受診者数、レセプト件数、診療実日数、医療費を求め、年齢階級別、都道府県別に算出した。算出結果に基づき、受診者1人当たり件数／日数／医療費を計算した。  
※ 以下の条件を満たすものを「市町村国保に該当するレセプト」「後期高齢者医療に該当するレセプト」とした。
  - 市町村国保に該当するレセプト：HOLコード内の「保険者番号」に法別番号が「00」（ただし5桁目が3を除く）となる保険者番号の記載があること。
  - 後期高齢者医療に該当するレセプト：HOLコード内の「保険者番号」に法別番号が「39」となる保険者番号の記載があること。
- 受診者数の算出における1受診者への名寄せ方法は、医療扶助単独においては、「匿名化ID2」＋「公費負担者番号」が一致するレセプトを1受診者へ名寄せすることとした。市町村国保・後期高齢者医療においては、「匿名化ID1N」が一致するレセプトを1受診者へ名寄せすることとした。

#### <受診者1人当たり傷病件数・医療機関数>

- 医療扶助単独／市町村国保／後期高齢者医療に該当するレセプトから、診療種別計／入院／入院外ごとに、受診者数、傷病件数、医療機関数を求め、年齢階級別、都道府県別に算出した。算出結果に基づき、受診者1人当たり傷病件数／医療機関数を計算した。
- 傷病件数の算出については、レセプトに記載のある「傷病名コード」を、各受診者で集約し、その種類数をカウントした。
- 医療機関数の算出については、レセプトに記載のある「医療機関コード」を、各受診者で集約し、その種類数をカウントした。

#### <調剤薬局利用者1人当たり医薬品種類数>

- 医療扶助単独／市町村国保／後期高齢者医療に該当するレセプトから、調剤薬局の利用者数と医薬品種類数を求め、年齢階級別、都道府県別に算出した。
- 医薬品種類数の算出については、薬価基準収載医薬品コード上7桁の一致する薬剤を同一種類とし、調剤薬局利用者ごとに、その種類数をカウントした。

### ○ 3疾患の有病状況等

- 医科入院外レセプトの主傷病や副傷病等全ての傷病を対象として3疾患対象傷病名がある場合、または、調剤レセプトで3疾患対象医薬品が処方されている場合にレセプト抽出を行い、それぞれ抽出した入院外レセプトと調剤レセプトを単純集約した。なお、生活習慣病以外の原因による当該疾患(1型糖尿病、二次性高血圧、家族性高血圧等)と悪性新生物は除外した。
- 医療扶助単独レセプトから、受診者数、3疾患における受診者数、総点数(総医療費)を求め、年齢階級別、都道府県別に算出した。

## ■ 地域差指数

- 「地域差指数」とは、地域の被保護者 1 人当たり医療扶助費について、被保護者の年齢構成の違いによる分を補正し、指数化(全国を 1)したものである。
- 都道府県別の 1 人当たり年齢調整後医療扶助費及び地域差指数の算出に用いた計算式は以下のとおり。

(1 人当たり年齢調整後医療扶助費)

$$= (\text{仮に当該地域の被保護者の年齢構成が全国平均と同じだとした場合の 1 人当たり医療扶助費}) = (\sum_{i,j} P_i \cdot a_{ij}) / P$$

(地域差指数)

$$= \frac{(\text{1 人当たり医療扶助費})}{(\text{全国平均の 1 人当たり医療扶助費})} = \frac{(\sum_{i,j} P_i \cdot a_{ij}) / P}{(\sum_{i,j} P_i \cdot A_{ij}) / P} = \frac{\sum_{i,j} P_i \cdot a_{ij}}{\sum_{i,j} P_i \cdot A_{ij}}$$

$\sum_{i,j}$  は年齢階級  $i$  と診療種別  $j$  について和をとることを意味する。

また、地域差指数の全国平均からの乖離(地域差指数-1)に対する年齢階級  $i$ 、診療種別  $j$  の寄与度は以下のとおり\*。

(年齢階級  $i$ 、診療種別  $j$  の寄与度)

$$= \frac{(P_i \cdot a_{ij} - P_i \cdot A_{ij})}{\sum_{i,j} P_i \cdot A_{ij}}$$

$P_i$  : 全国の年齢階級  $i$  の被保護者数  
 $P$  : 全国の被保護者数  
 $a_{ij}$  : 当該地域の年齢階級  $i$ 、診療種別  $j$  の 1 人当たり医療扶助費  
 $A_{ij}$  : 全国年齢階級  $i$ 、診療種別  $j$  の 1 人当たり医療扶助費

\* このほか、疾病分類別寄与度、三要素寄与度も算出しているが、いずれも厚生労働省保険局調査課「令和元年度医療費(電算処理分)の地域差分析」に準じて実施している。

## ■ 留意事項

- 本集計で対象となるレセプトは、NDBに収載された電子レセプト分に限られ、再審査請求や過誤調整等が未反映である。また、同様の理由により、紙レセプト分が含まれない。
- 3 疾患の抽出は、先行研究\*を参考に、医科入院外レセプトと調剤レセプトの紐づけを行わずに集計を行ったため、紐づけを行った場合の集計と比較すると過大となっている可能性が考えられる。

\* 令和元年度厚生労働省社会福祉推進事業「被保護者健康管理支援事業の実施に資する調査及び分析に関する調査研究事業」

<本分析に使用した基礎数値等>

- 年齢階級別被保護者数
  - ・ 厚生労働省「2019年度被保護者調査」の「年次調査(個別調査)」による令和元年7月末日現在の都道府県別、年齢階級別被保護人員。
- 年齢階級別加入者数
  - ・ 市町村国保：厚生労働省「令和元年度国民健康保険実態調査」の「保険者票編」(速報)による9月末現在の保険者別、年齢階級別被保険者数。
  - ・ 後期高齢者医療：厚生労働省「令和元年度後期高齢者医療制度被保険者実態調査」による9月末現在の保険者別、年齢階級別被保険者数。
- 診療種別
  - ・ 医科診療医療費(入院)と入院時食事・生活療養に係る医療費(医科分)の合計を「入院」、医科診療医療費(入院外)と調剤医療費の合計を「入院外」、歯科診療医療費と入院時食事・生活療養に係る医療費(歯科分)の合計を「歯科」とした。訪問看護医療費及び療養費等はいずれにも含まれない。
- 疾病分類別
  - ・ 社会保険表章用疾病分類(平成30年3月28日保発第0328第4号)による122分類に基づき主傷病ベースで集計したものを、大分類に集約して集計している。なお、主傷病コードに「01」が記録されていない場合は、レセプト内の傷病レコードのうち一番最初に記載されている傷病を主傷病として集計している。
  - ・ 疾病分類別の寄与の算出においては、疾病分類不詳の医療費は、年齢階級別に当該都道府県の各疾病分類別医療費により按分している。なお、調剤医療費については、調剤レセプトから疾病に関する情報が得られないため、調剤レセプトを入院外レセプトに紐付けした上で、当該入院外レセプトから得られる疾病を基に、疾病分類別に集計している。
- 都道府県別
  - ・ 医療扶助：KOLコードに記載に公費負担者番号を用いて判別している。
  - ・ 市町村国保・後期高齢者医療：HOLコードに記載の保険者番号を用いて判別している。
- 性別・年齢階級
  - ・ RELコードの記載から、性別と年齢階級(満年齢)を判別している。
- 当該都道府県の有病割合寄与度  
(当該都道府県の被保護者1人当たり実績医療扶助費÷被保護者1人当たり実績医療扶助費全国平均×100-100)×log(当該都道府県の有病割合÷有病割合全国平均)÷〔log(当該都道府県の有病割合÷有病割合全国平均)+log(当該都道府県の受診者1人当たり実績医療扶助費÷受診者1人当たり実績医療扶助費全国平均)〕
- 当該都道府県の受診者1人当たり実績医療費寄与度  
(当該都道府県の被保護者1人当たり実績医療扶助費÷被保護者1人当たり実績医療扶助費全国平均×100-100)×log(当該都道府県の受診者1人当たり実績医療扶助費÷受診者1人当たり実績医療扶助費全国平均)÷〔log(当該都道府県の有病割合÷有病割合全国平均)+log(当該都道府県の受診者1人当たり実績医療扶助費÷受診者1人当たり実績医療扶助費全国平均)〕

# 結果の概要

## ■ 年齢階級別にみた医療扶助費の状況

- ・ 1人当たり医療費を年齢階級別にみると、年齢とともに高くなり、10歳代までは外来(入院外 + 調剤)の割合が高いが、20歳代になると入院(入院 + 食事療養)の割合が高くなる(図表1-1)。

## ■ 地域別にみた医療扶助費の状況(地域差分析)

- ・ 1人当たり年齢調整後医療扶助費を都道府県別にみると、最も高い県と低い県で約1.5倍の差がある(図表2-2)。
- ・ 地域差への寄与を診療種別にみると入院の寄与度が大きく、年齢階級別にみると70歳以上の寄与度が比較的大きい(図表2-5、2-6)。
- ・ 地域差への寄与を疾病分類別にみると、診療種別計及び入院では「V 精神及び行動の障害」の寄与度が大きく、入院外では「IX 循環器系の疾患」、「XIII 筋骨格系・結合組織の疾患」の寄与度が大きい(図表2-7、2-10、2-13)。
- ・ 地域差への寄与を三要素別にみると、総じて入院の受診率の寄与度が大きい(図表2-8)。

## ■ 公的医療保険加入者との比較

- ・ 年齢階級別1人当たり医療扶助費を市町村国保・後期高齢者医療の医療費と比較すると、入院・入院外ともに19歳以下を除いて医療扶助の方が高い(図表3-1)。
- ・ 年齢階級別1人当たり受診日数を比較すると、入院では14歳以下を除き医療扶助が多く、入院外では20～74歳では医療扶助の方が多いが、それ以外の年齢階級では医療扶助の方が少ない(図表3-4、3-5)。
- ・ 年齢階級別1人当たり傷病件数と受診医療機関数を比較すると、入院ではいずれも同水準だが、入院外では医療扶助の方が傷病件数が多く、受診医療機関数が少ない傾向である(図表3-6、3-7)。

## ■ 3疾患の有病状況等

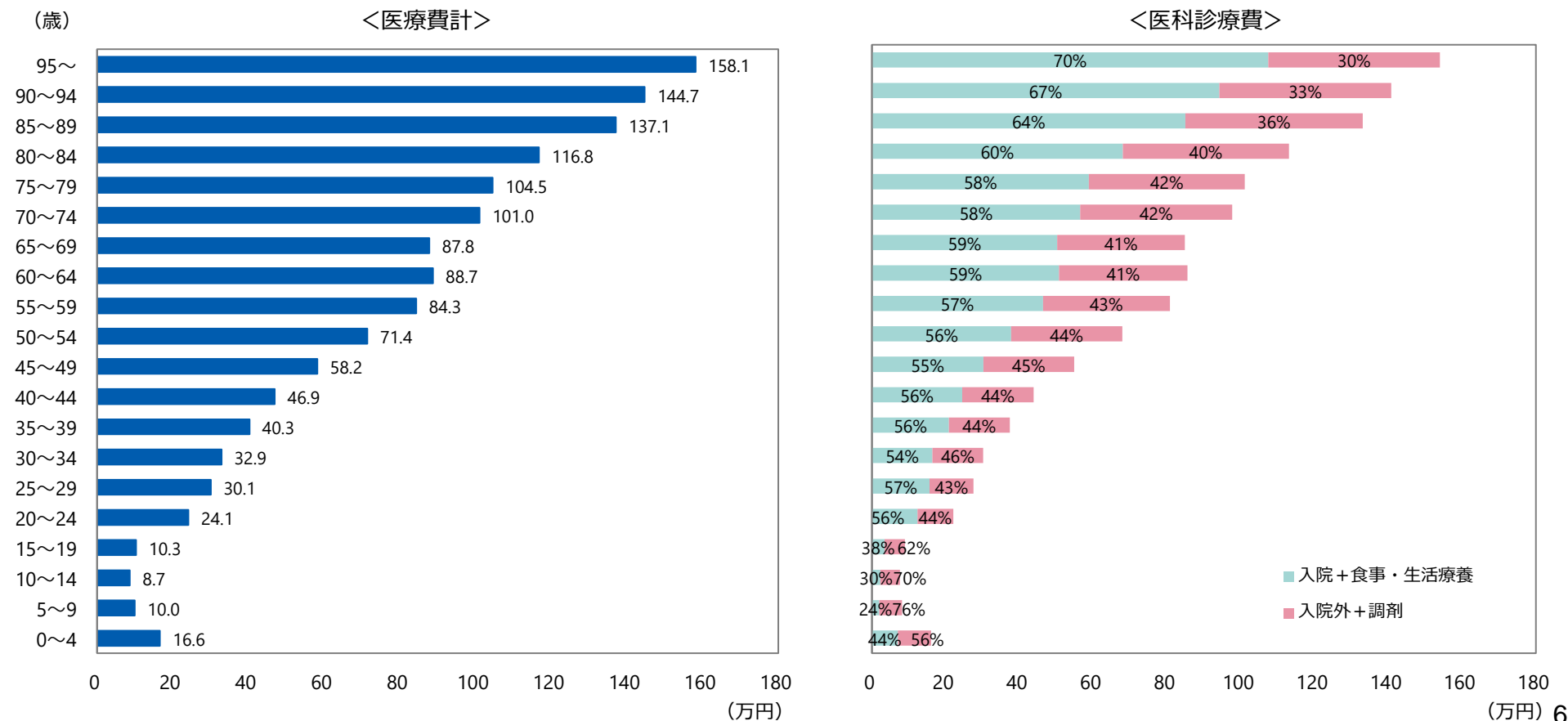
- ・ 3疾患に係る1人当たり実績医療扶助費は、年齢とともに増加傾向であり、市町村国保・後期高齢者医療と比較すると、全ての年齢階級で医療扶助の方が高く、特に20～60歳代でその差が大きい(図表4-1、4-2、4-3)。
- ・ 3疾患の有病割合は、年齢とともに増加傾向であり、市町村国保・後期高齢者医療と比較すると、糖尿病の90歳代以降と脂質異常症の80歳以降で逆転がみられるのを除き、いずれの疾患も20歳代以上の全ての年齢階級で医療扶助の方が高く、高齢期になるとその差は縮まる(図表4-1、4-2、4-3)。
- ・ 3疾患に係る1人当たり実績医療扶助費を都道府県別にみると、地域によってばらつきがある。1人当たり実績医療扶助費については、有病割合の寄与度の影響が大きい場合と、受診者1人当たり実績医療扶助費の寄与度の影響が大きい場合と、その両者が影響している場合がある(図表4-4、4-5、4-6)。

# 1 年齢階級別にみた医療扶助費の状況

## (1) 年齢階級別にみた1人当たり医療扶助費（令和元年度）

- 1人当たり医療扶助費を年齢階級別にみると、年齢とともに高くなり、10歳代までは外来(入院外+調剤)の割合が高いが、20歳代から入院(入院+食事療養)の割合が高くなる。

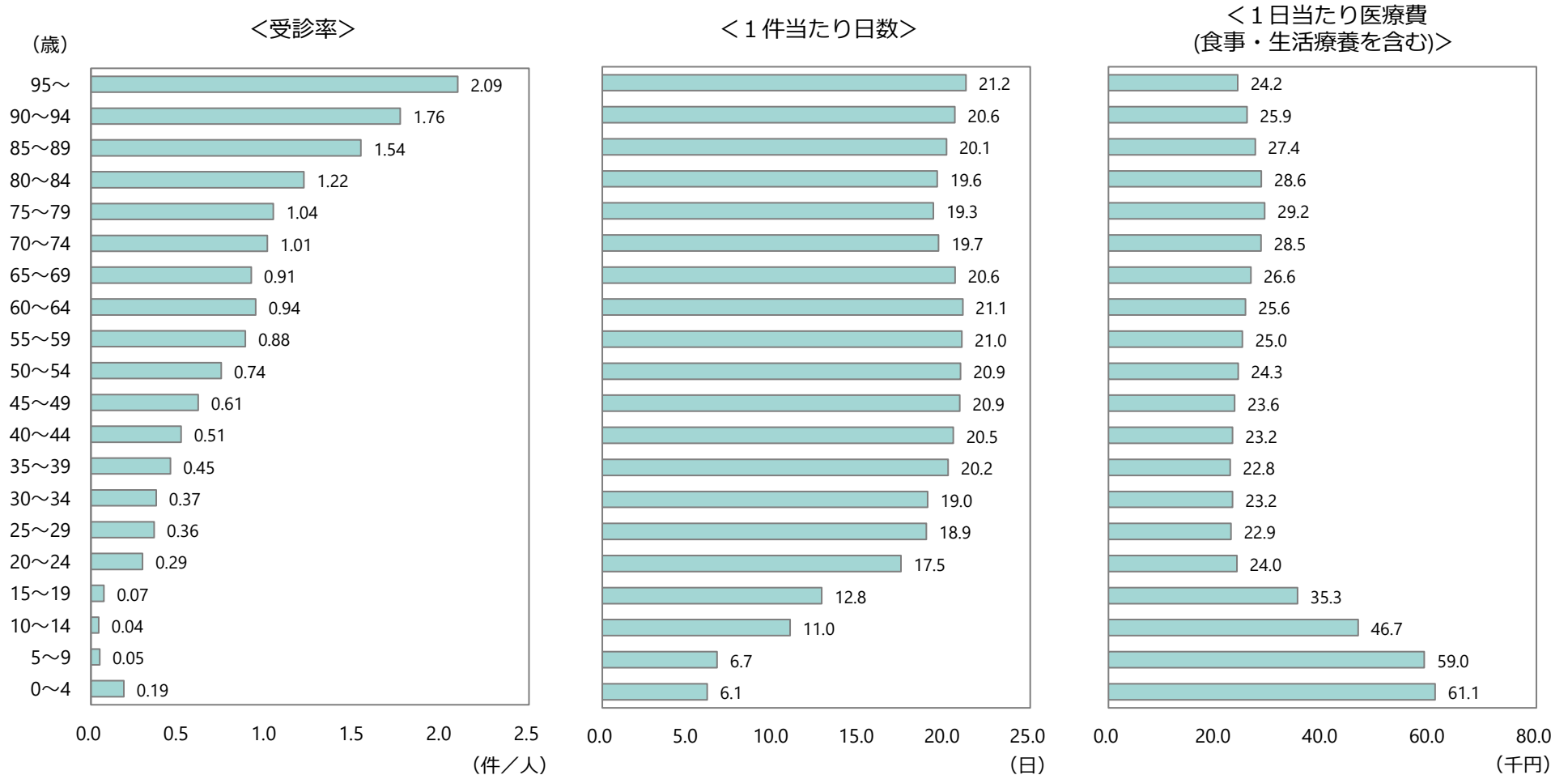
図表1-1 年齢階級別、1人当たり医療扶助費



## (2) 年齢階級別に見た三要素（入院）

- 入院医療費について、三要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり医療費)に分解してみると、高齢期に入ると受診率が急増し、1件当たり日数は微増する一方、1日当たり医療費は微減する。

図表 1-2 年齢階級別、三要素（入院）

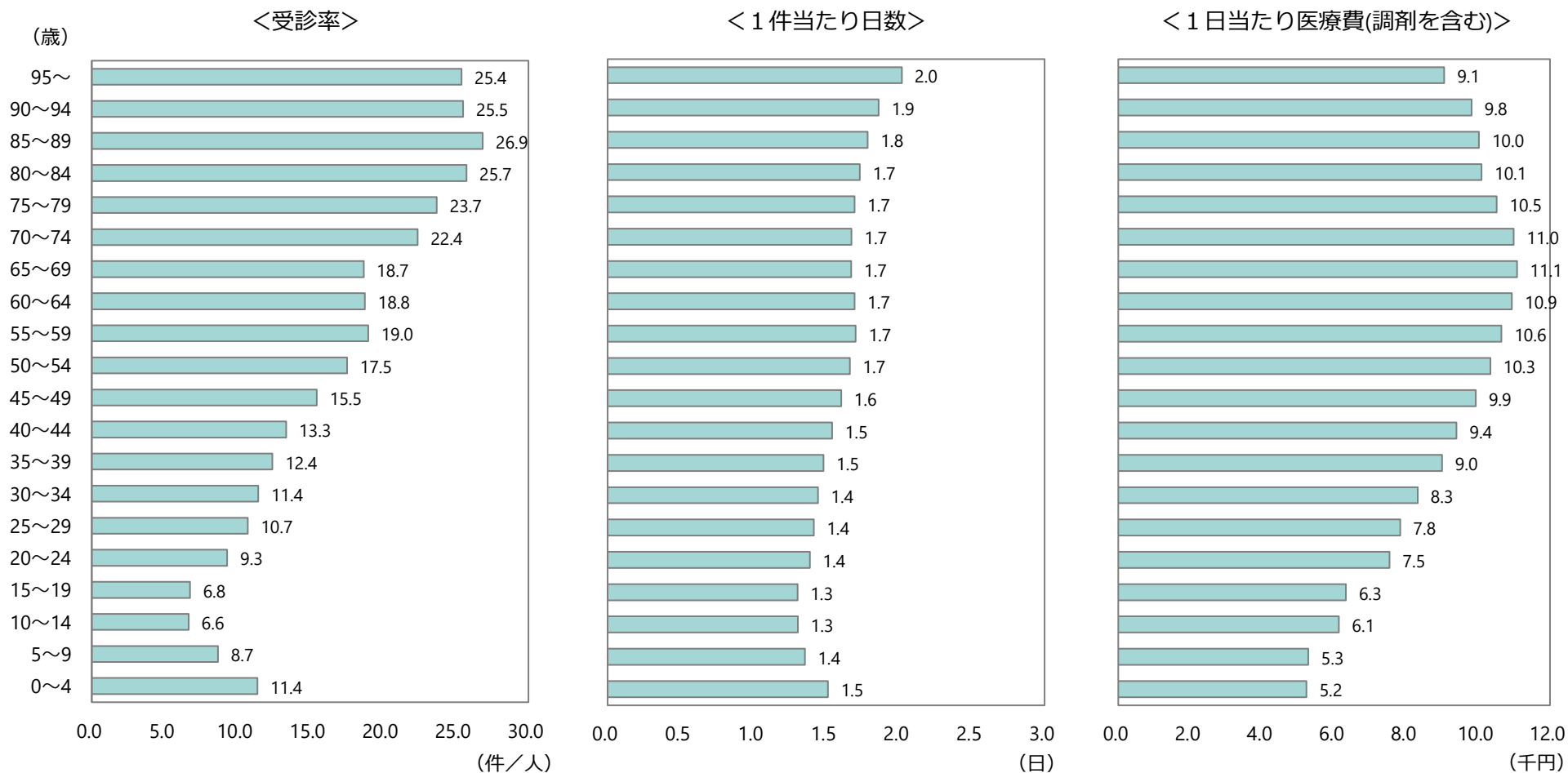




### (3) 年齢階級別にみた三要素（入院外、令和元年度）

- 入院外医療費について、三要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり医療費)に分解してみると、年齢とともに増加傾向の受診率が80歳代後半をピークに低下する。

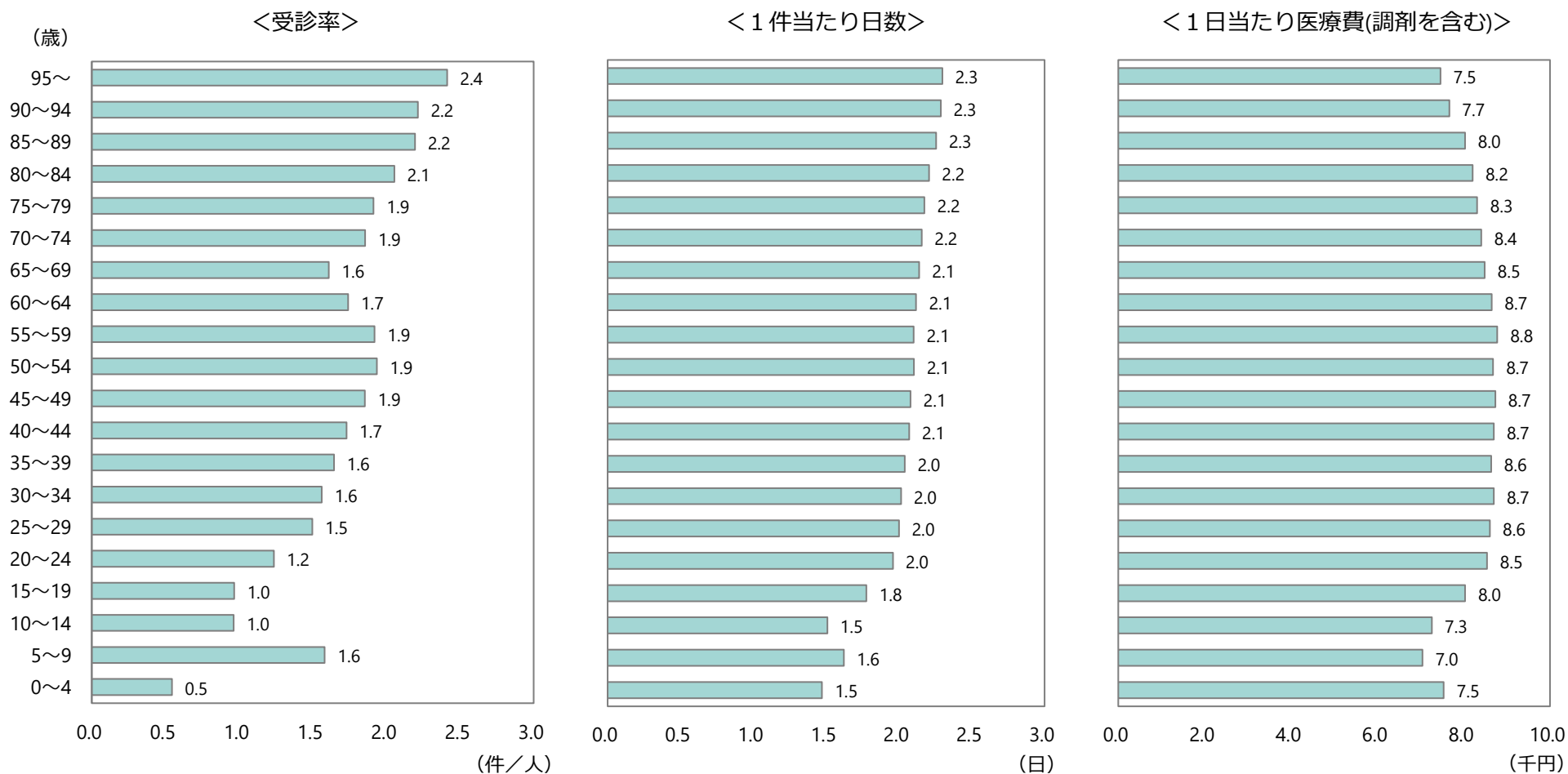
図表1-3 年齢階級別、三要素（入院外）



#### (4) 年齢階級別に見た三要素（歯科、令和元年度）

- 歯科医療費について、三要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり医療費)に分解してみると、高齢期に入ると受診率は増加、1件当たり日数は微増する一方、1日当たり医療費は減少する。

図表1-4 年齢階級別、三要素（歯科）



## 2 地域別にみた医療扶助費の状況（地域差分析）

### （1）総括表

図表 2 - 1 1人当たり実績医療扶助費及び対全国比

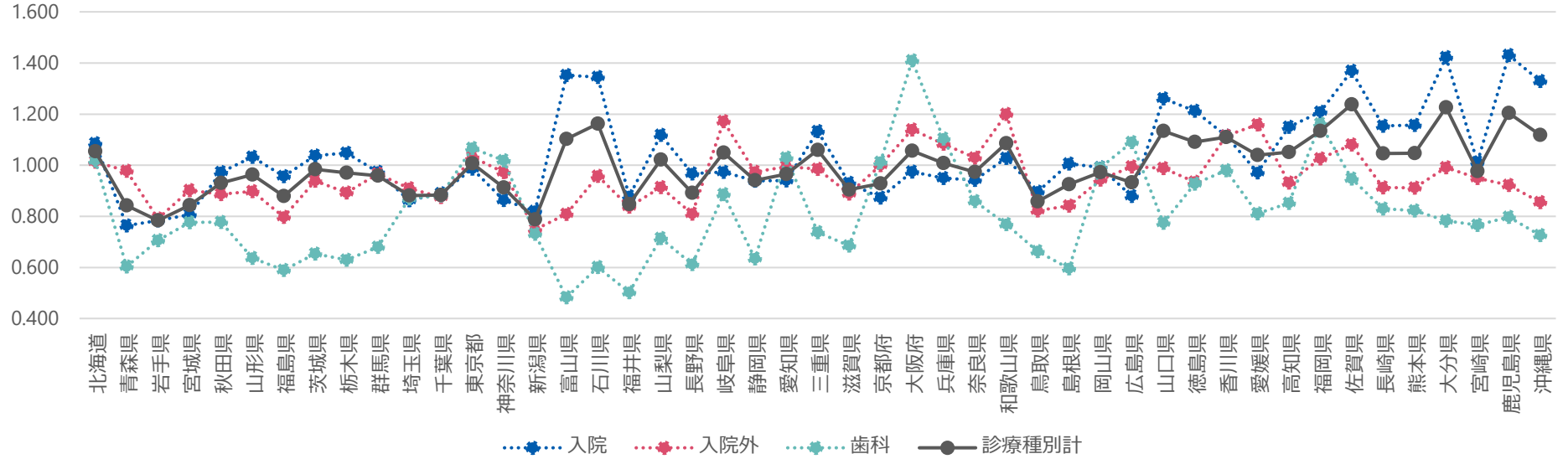
	計			入院			入院外			歯科		
	円			円			円			円		
	対全国比	順位		対全国比	順位		対全国比	順位		対全国比	順位	
全国平均	811,325	1.000	-	457,795	1.000	-	322,246	1.000	-	31,284	1.000	-
北海道	855,448	1.054	14	497,173	1.086	16	326,456	1.013	11	31,819	1.017	8
青森県	683,292	0.842	45	349,495	0.763	47	314,942	0.977	18	18,855	0.603	42
岩手県	635,897	0.784	47	358,972	0.784	46	254,844	0.791	46	618,521	0.762	47
宮城県	684,381	0.844	44	369,367	0.807	45	290,718	0.902	33	24,296	0.777	25
秋田県	755,190	0.931	33	445,383	0.973	28	285,494	0.886	37	24,313	0.777	24
山形県	781,460	0.963	29	472,346	1.032	19	289,205	0.897	34	19,909	0.636	38
福島県	713,470	0.879	41	437,981	0.957	31	257,044	0.798	45	18,445	0.590	45
茨城県	798,148	0.984	23	475,129	1.038	18	302,574	0.939	25	20,446	0.654	37
栃木県	787,201	0.970	27	479,749	1.048	17	287,745	0.893	35	19,707	0.630	40
群馬県	778,088	0.959	30	445,516	0.973	27	311,296	0.966	21	21,276	0.680	35
埼玉県	715,227	0.882	40	394,997	0.863	43	293,035	0.909	32	27,195	0.869	16
千葉県	716,906	0.884	39	407,405	0.890	38	281,919	0.875	38	28,581	0.882	15
東京都	817,144	1.007	22	451,291	0.986	24	332,489	1.032	8	33,364	1.066	5
神奈川県	740,712	0.913	36	395,385	0.864	42	313,470	0.973	20	31,856	1.018	7
新潟県	639,265	0.788	46	375,525	0.820	44	240,869	0.747	47	22,871	0.731	30
富山県	894,801	1.103	9	619,093	1.352	4	260,608	0.809	44	15,100	0.483	47
石川県	943,218	1.163	4	615,891	1.345	5	308,506	0.957	22	18,821	0.602	43
福井県	687,730	0.848	43	402,104	0.878	40	269,900	0.838	41	15,725	0.503	46
山梨県	828,873	1.022	20	512,063	1.119	14	294,457	0.914	29	22,353	0.715	32
長野県	723,095	0.891	38	442,919	0.968	30	261,021	0.810	43	19,155	0.612	41
岐阜県	851,065	1.049	16	445,699	0.974	26	377,646	1.172	2	27,720	0.886	14
静岡県	763,393	0.941	31	429,843	0.939	35	313,698	0.973	19	19,852	0.635	39
愛知県	783,062	0.965	28	430,288	0.940	34	320,593	0.995	13	32,180	1.029	6
三重県	859,441	1.059	12	518,871	1.133	13	317,510	0.985	17	23,061	0.737	29
滋賀県	733,903	0.905	37	426,132	0.931	36	286,342	0.889	36	21,429	0.685	34
京都府	753,075	0.928	34	399,363	0.872	41	322,036	0.999	12	31,676	1.013	9
大阪府	857,038	1.056	13	445,965	0.974	25	366,953	1.139	4	44,120	1.410	1
兵庫県	818,172	1.008	21	434,425	0.949	32	349,222	1.084	6	34,524	1.104	3
奈良県	789,689	0.973	25	431,076	0.942	33	331,723	1.029	9	26,890	0.860	17
和歌山県	881,154	1.086	11	470,404	1.028	20	386,692	1.200	1	24,058	0.769	27
鳥取県	695,908	0.858	42	410,293	0.896	37	264,874	0.822	42	20,740	0.663	36
島根県	750,423	0.925	35	460,548	1.006	22	271,239	0.842	40	18,636	0.596	44
岡山県	788,869	0.972	26	453,861	0.991	23	304,020	0.943	24	30,989	0.991	10
広島県	756,897	0.933	32	402,307	0.879	39	320,496	0.995	14	34,094	1.090	4
山口県	919,988	1.134	6	577,470	1.261	7	318,284	0.988	16	24,234	0.775	26
徳島県	885,101	1.091	10	554,988	1.212	8	301,099	0.934	26	29,013	0.927	13
香川県	900,406	1.110	8	510,513	1.115	15	359,251	1.115	5	30,643	0.979	11
愛媛県	843,742	1.040	19	444,744	0.971	29	373,639	1.059	3	25,359	0.811	21
高知県	852,920	1.051	15	526,184	1.149	12	300,079	0.931	27	26,658	0.852	18
福岡県	920,228	1.134	5	553,198	1.208	9	330,663	1.026	10	36,367	1.162	2
佐賀県	1,004,460	1.238	1	626,588	1.369	3	348,251	1.081	7	29,621	0.847	12
長崎県	848,136	1.045	18	528,190	1.154	11	293,998	0.912	30	25,948	0.829	19
熊本県	848,991	1.046	17	529,525	1.157	10	293,749	0.912	31	25,717	0.822	20
大分県	995,247	1.227	2	651,299	1.423	2	319,470	0.991	15	24,478	0.782	23
宮崎県	792,578	0.977	24	462,758	1.011	21	305,870	0.949	23	23,950	0.766	28
鹿児島県	977,128	1.204	3	654,965	1.431	1	297,234	0.922	28	24,929	0.797	22
沖縄県	906,856	1.118	7	608,522	1.329	6	275,633	0.855	39	22,701	0.726	31

図表 2 - 2 1人当たり年齢調整後医療扶助費及び地域差指数

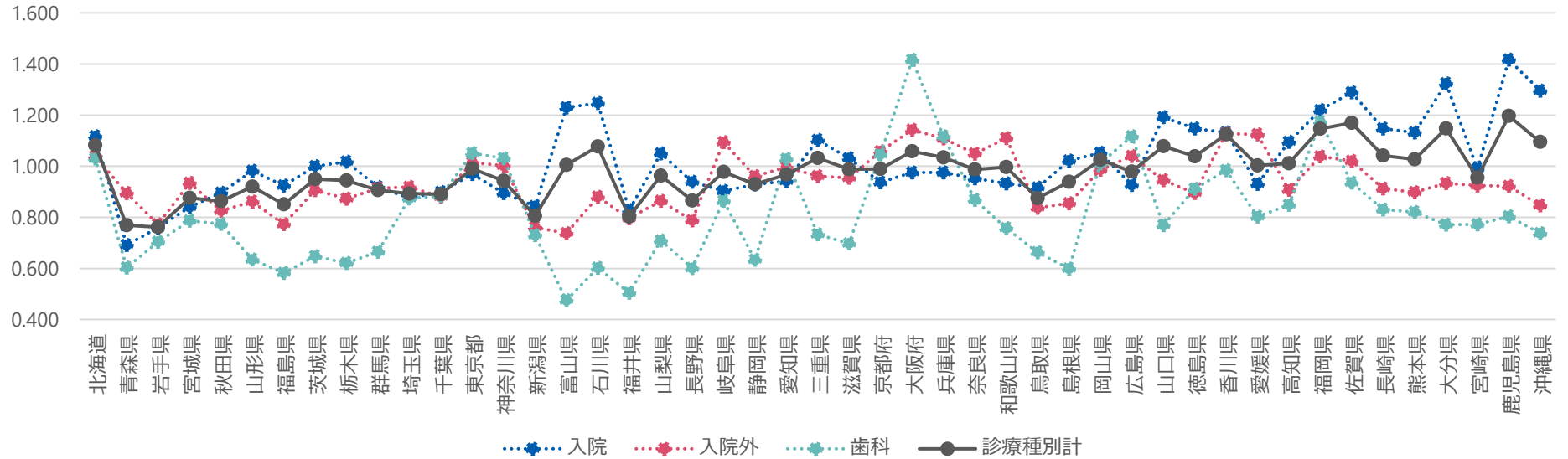
	計			入院			入院外			歯科		
	円			円			円			円		
	地域差指数	順位		地域差指数	順位		地域差指数	順位		地域差指数	順位	
全国平均	811,325	1.000	-	457,795	1.000	-	322,246	1.000	-	31,284	1.000	-
北海道	878,681	1.083	7	511,440	1.117	13	335,013	1.040	10	32,227	1.030	8
青森県	623,684	0.769	46	316,389	0.691	47	288,407	0.895	32	18,889	0.604	41
岩手県	618,521	0.762	47	347,658	0.759	46	248,834	0.772	45	22,029	0.704	33
宮城県	710,706	0.876	39	384,791	0.841	44	301,290	0.935	21	24,625	0.787	23
秋田県	700,700	0.864	42	410,407	0.896	40	266,061	0.826	41	24,232	0.775	24
山形県	746,801	0.920	35	449,495	0.982	23	277,445	0.861	37	19,860	0.635	38
福島県	690,511	0.851	43	423,206	0.924	35	249,074	0.773	44	18,231	0.583	45
茨城県	770,084	0.949	30	457,710	1.000	21	292,123	0.907	29	20,251	0.647	37
栃木県	766,407	0.945	31	465,782	1.017	20	281,187	0.873	35	19,437	0.621	40
群馬県	735,601	0.907	36	420,176	0.918	36	294,615	0.914	26	20,809	0.665	35
埼玉県	724,658	0.893	37	401,266	0.877	42	296,061	0.919	25	27,330	0.874	15
千葉県	723,109	0.891	38	411,693	0.899	39	283,776	0.881	34	27,640	0.884	14
東京都	803,700	0.991	21	443,758	0.969	26	327,066	1.015	13	32,875	1.051	5
神奈川県	765,092	0.943	32	409,782	0.895	41	323,057	1.003	14	32,253	1.031	7
新潟県	654,028	0.806	44	386,051	0.843	43	245,118	0.761	46	22,858	0.731	31
富山県	815,552	1.005	18	562,912	1.230	6	237,773	0.738	47	14,867	0.475	47
石川県	873,885	1.077	9	571,233	1.248	5	283,810	0.881	33	18,842	0.602	42
福井県	651,541	0.803	45	379,085	0.828	45	256,678	0.797	42	15,778	0.504	46
山梨県	781,435	0.963	28	480,584	1.050	17	278,654	0.865	36	22,196	0.710	32
長野県	702,434	0.866	41	429,831	0.939	29	253,795	0.788	43	18,808	0.601	43
岐阜県	793,282	0.978	26	413,474	0.903	38	352,771	1.095	6	27,037	0.864	17
静岡県	754,678	0.930	34	425,015	0.928	33	309,841	0.962	17	19,823	0.634	39
愛知県	784,802	0.967	27	431,335	0.942	28	321,292	0.997	15	32,176	1.029	9
三重県	837,589	1.032	14	504,998	1.103	14	309,643	0.961	18	22,948	0.734	30
滋賀県	801,767	0.988	23	472,245	1.032	18	307,693	0.955	19	21,829	0.698	34
京都府	802,901	0.990	22	428,881	0.937	30	341,300	1.059	7	32,720	1.046	6
大阪府	859,299	1.059	10	446,728	0.976	25	368,257	1.143	1	44,314	1.416	1
兵庫県	839,062	1.034	13	446,867	0.976	24	357,252	1.109	5	34,943	1.117	4
奈良県	801,318	0.988	24	436,076	0.953	27	338,060	1.049	8	27,182	0.869	16
和歌山県	808,416	0.996	20	426,972	0.933	31	357,748	1.110	4	23,696	0.757	28
鳥取県	709,886	0.875	40	419,189	0.916	37	269,944	0.838	40	20,753	0.663	36
島根県	762,032	0.939	33	467,665	1.022	19	275,605	0.855	38	18,762	0.600	44
岡山県	831,467	1.025	16	481,850	1.053	16	317,978	0.987	16	31,639	1.011	10
広島県	794,297	0.979	25	424,286	0.927	34	335,057	1.040				

図表2-3 1人当たり医療扶助費の地域差

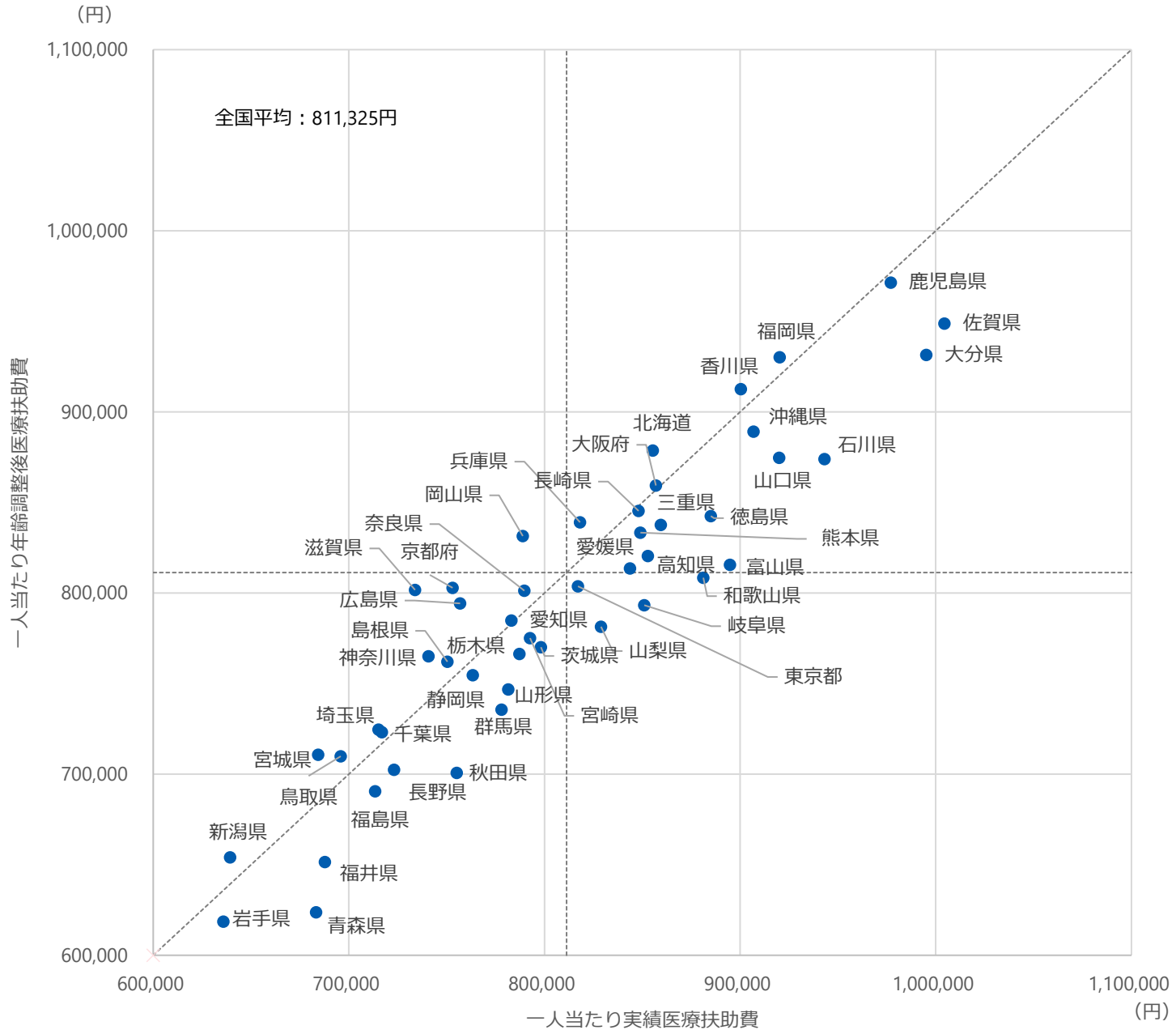
<対全国比（1人当たり実績医療扶助費）>



<地域差指数（1人当たり年齢調整後医療扶助費）>

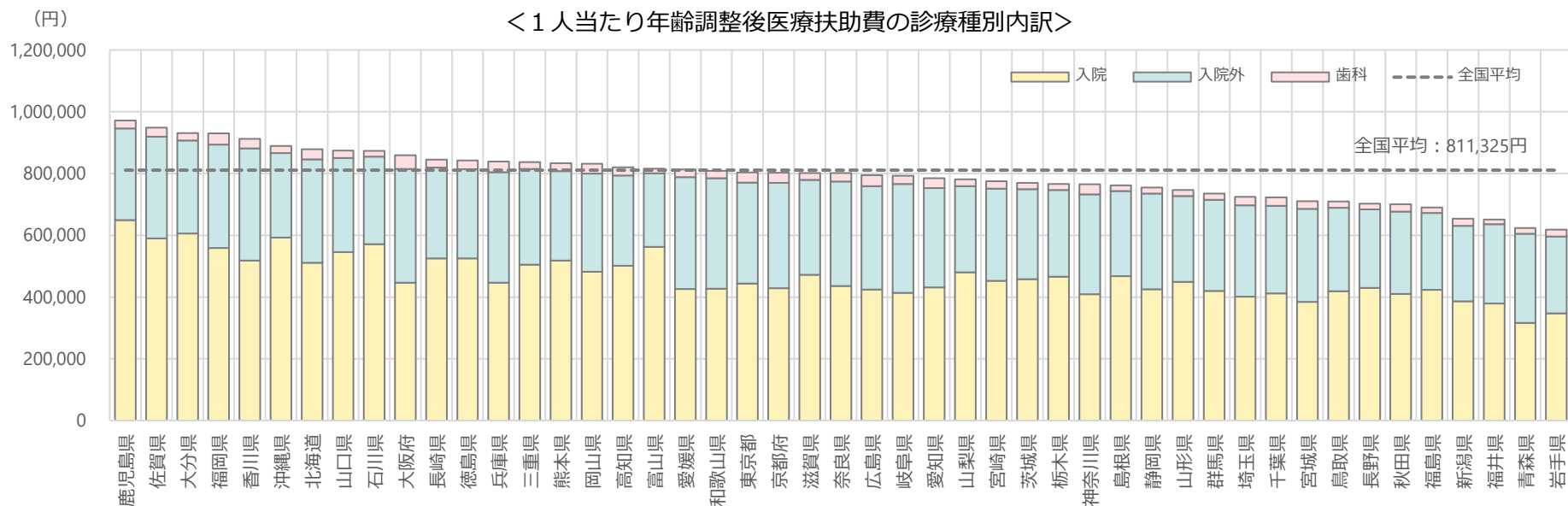


図表 2-4 1人あたり実績医療扶助費と年齢調整後医療扶助費の関係



## (2) 地域差指数（診療種別計）に対する各種寄与度

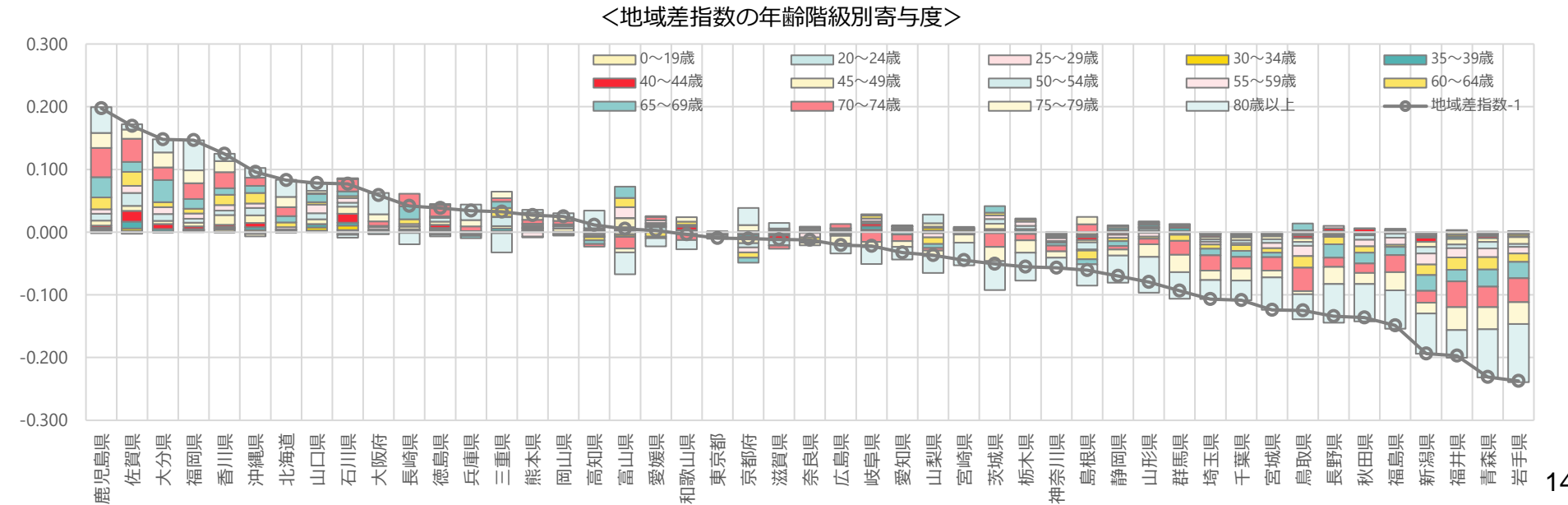
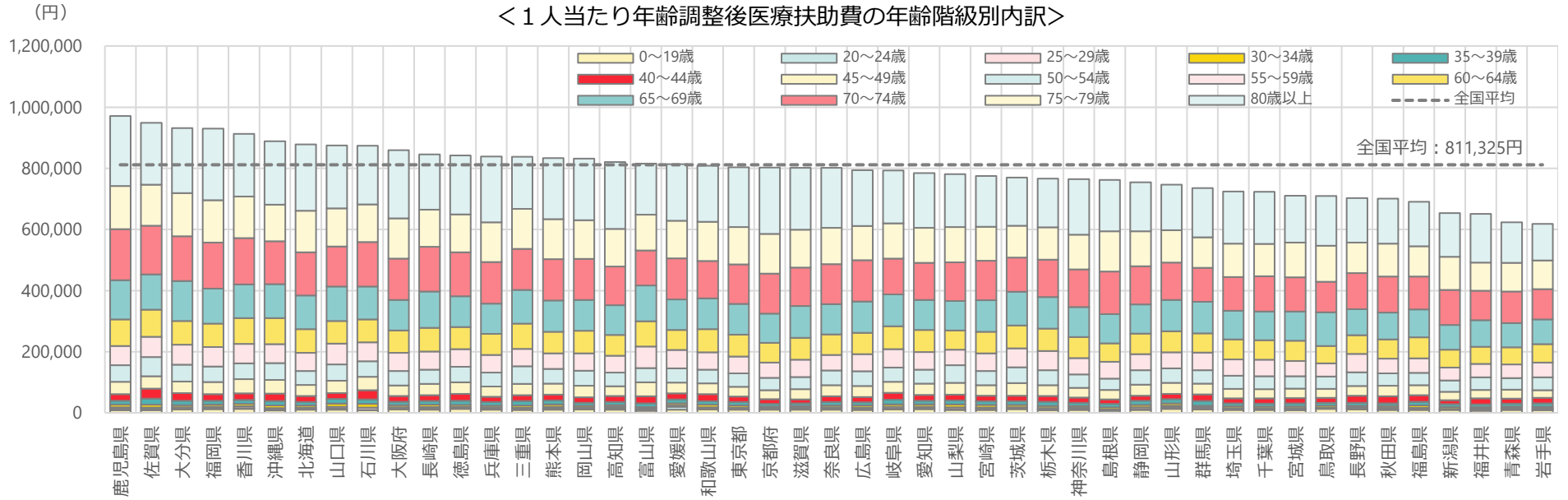
図表 2-5 診療種別寄与度



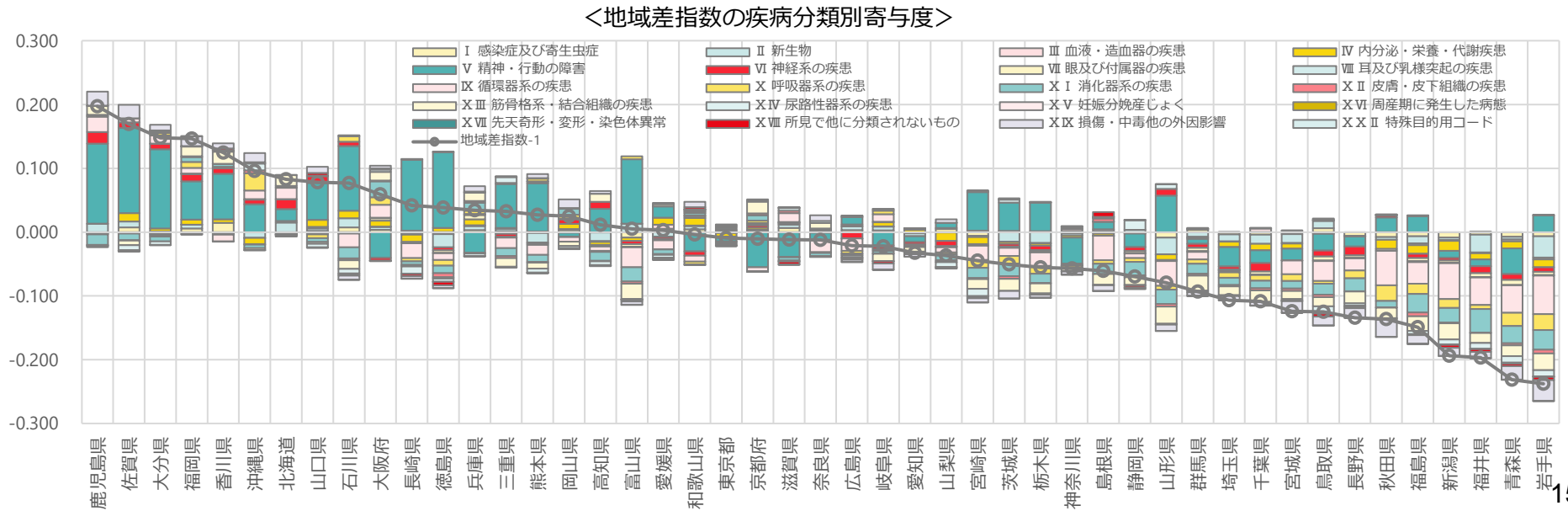
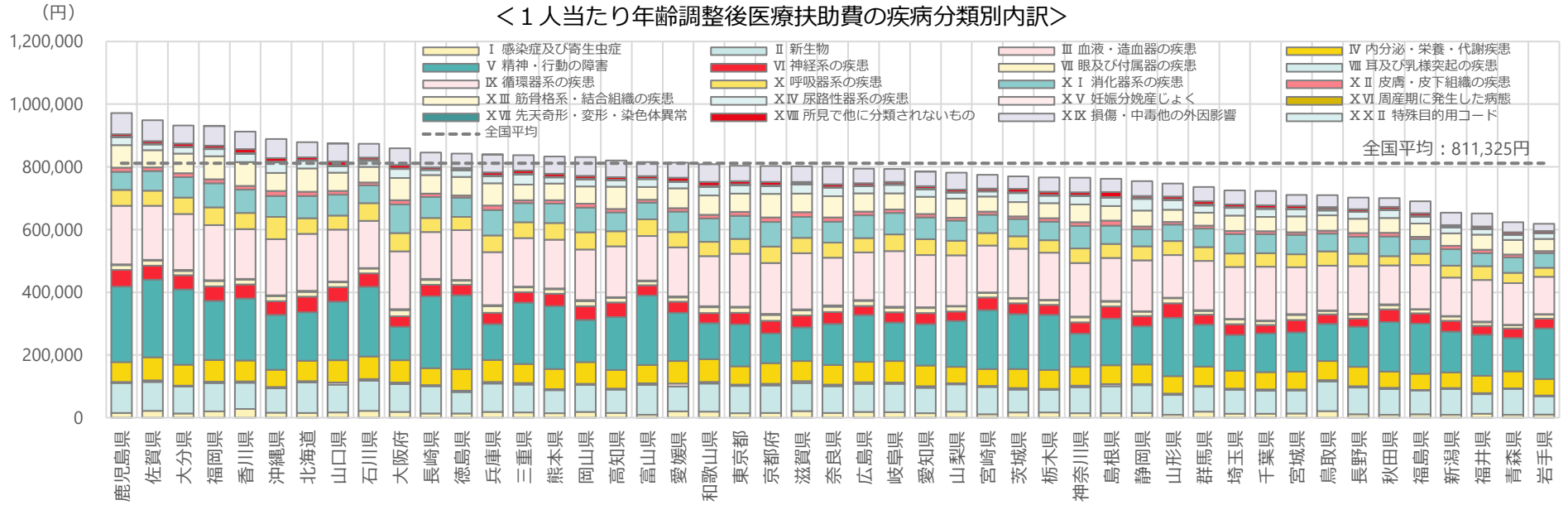
< 地域差指数の診療種別寄与度 >



図表 2-6 年齢階級別寄与度



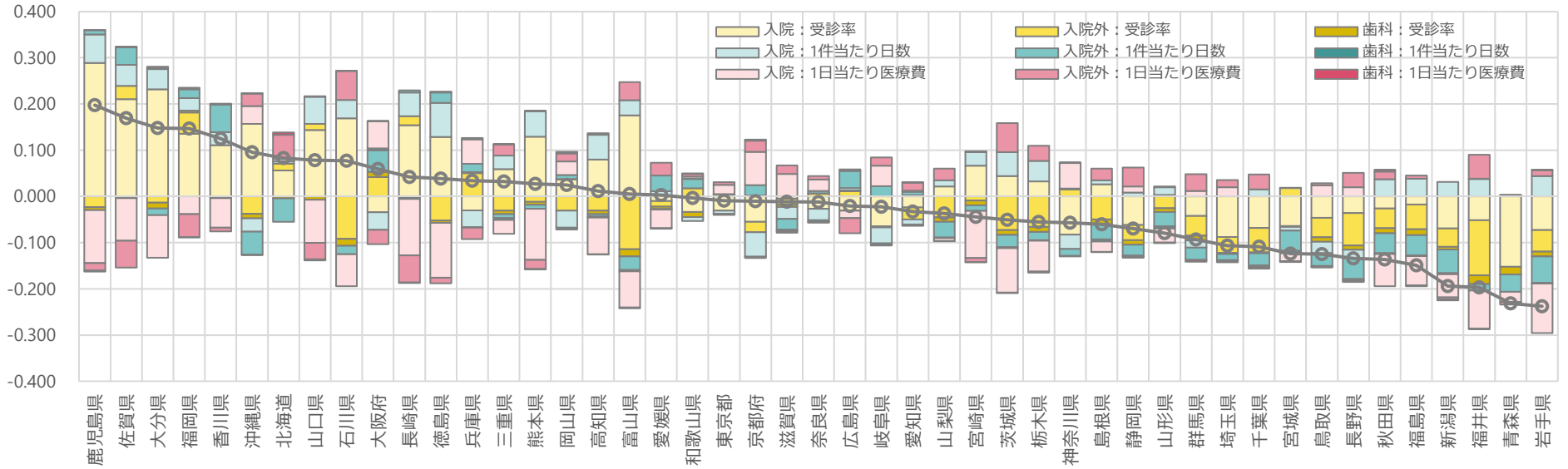
図表 2-7 疾病分類別寄与度





図表2-8 三要素別寄与度

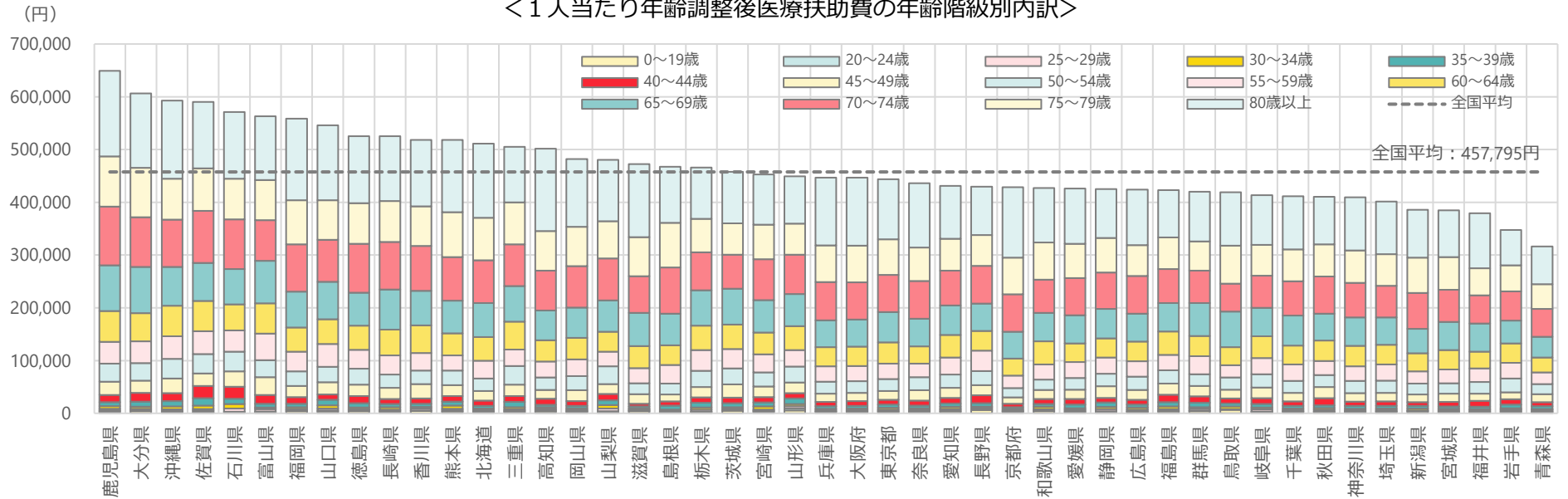
<地域差指数の三要素別寄与度>



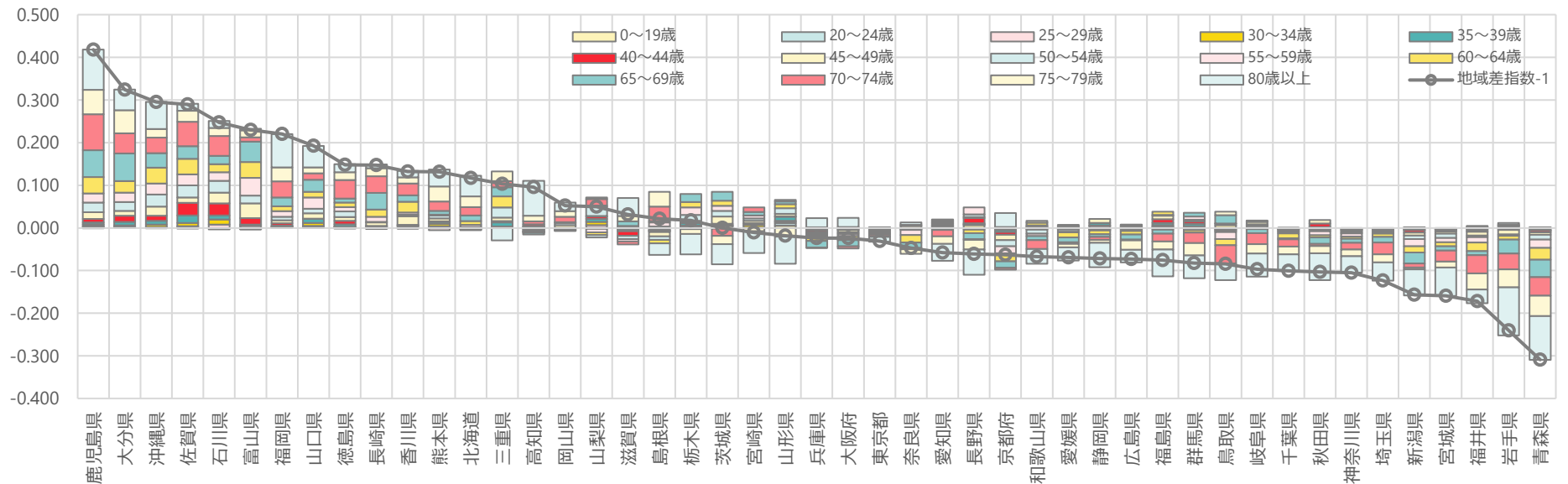
### (3) 地域差指数（入院）に対する各種寄与度

図表 2-9 年齢階級別寄与度

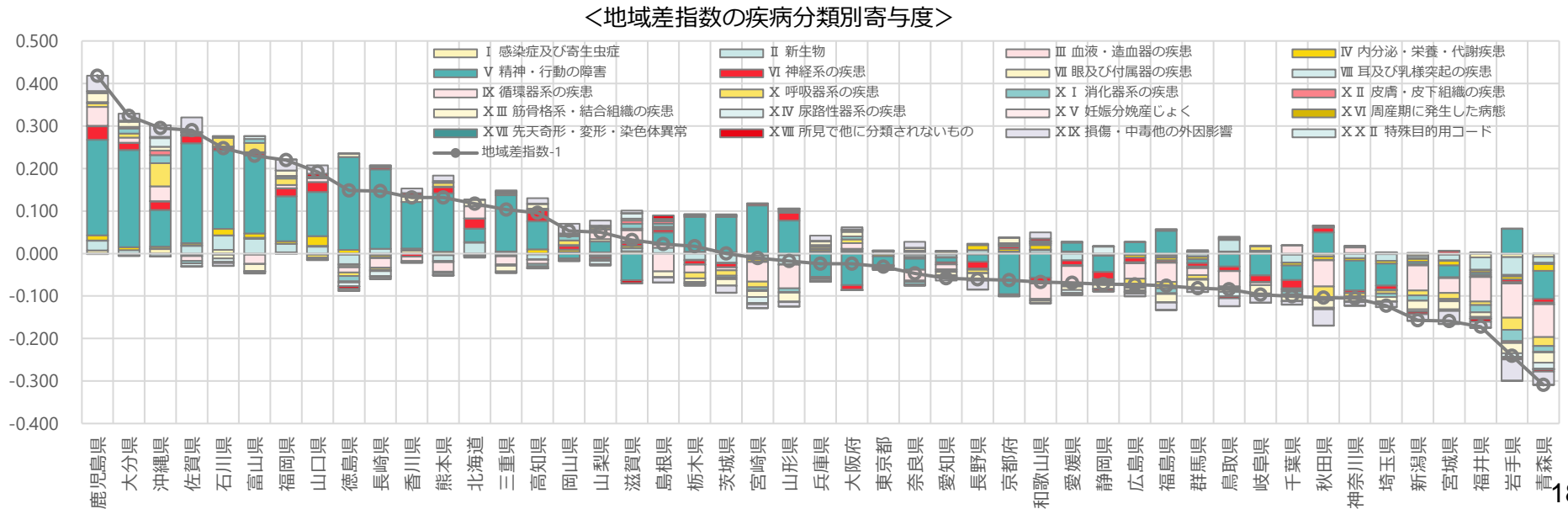
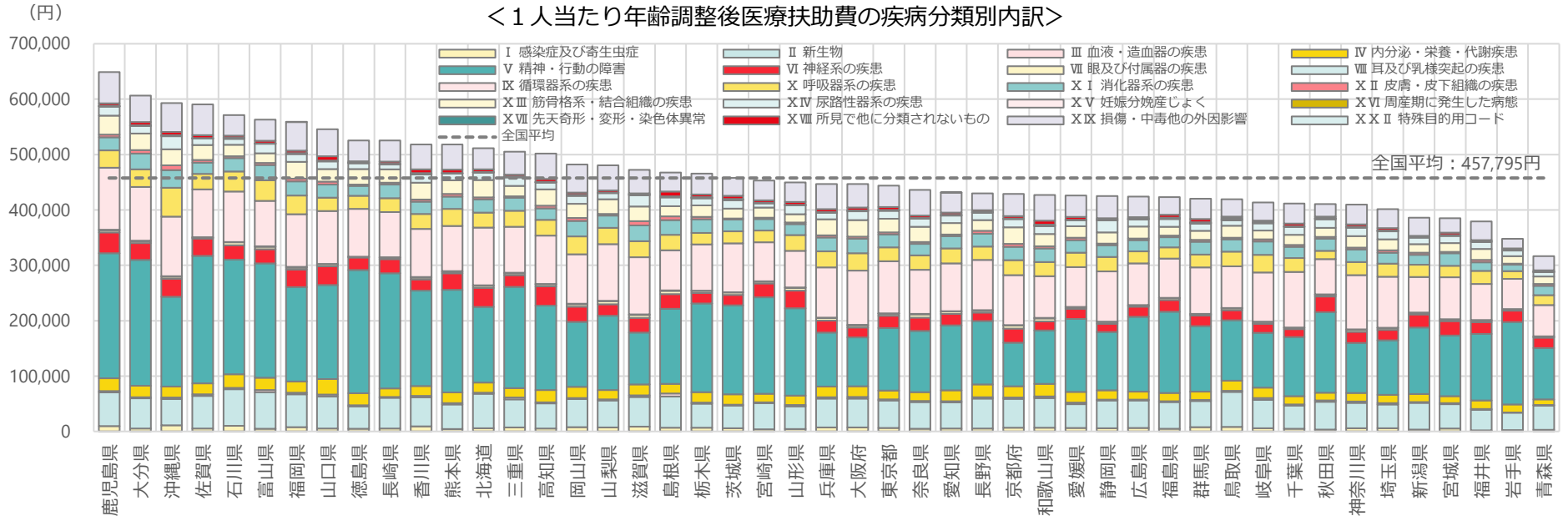
< 1人あたり年齢調整後医療扶助費の年齢階級別内訳 >



< 地域差指数の年齢階級別寄与度 >

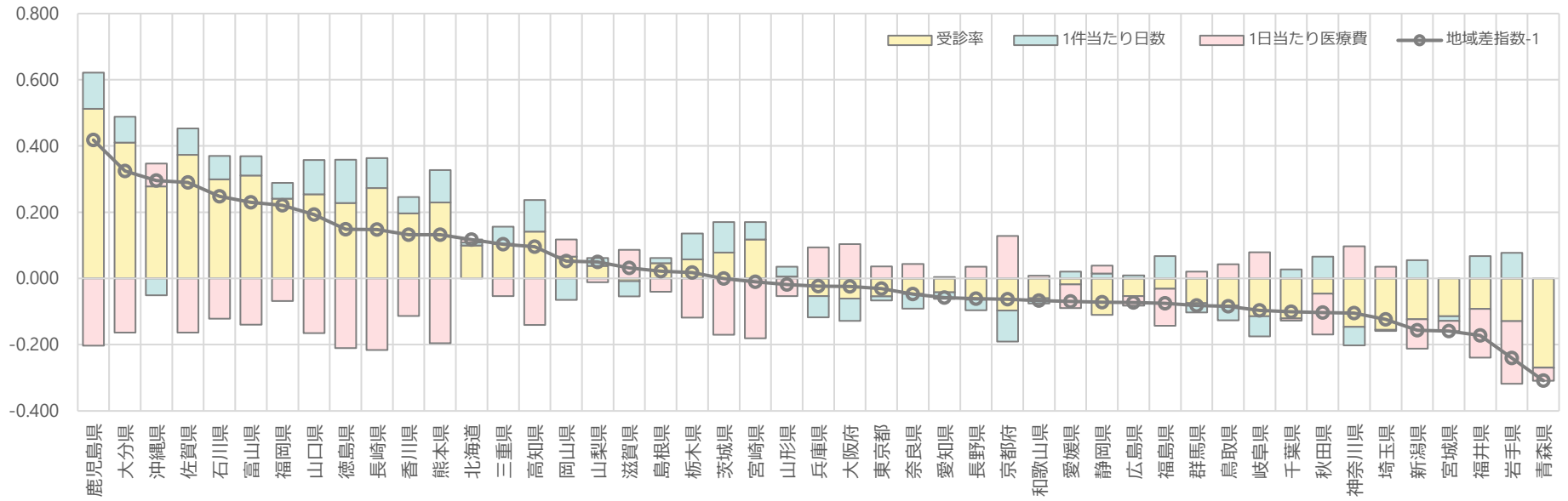


図表 2-10 疾病分類別寄与度



図表 2-11 三要素別寄与度

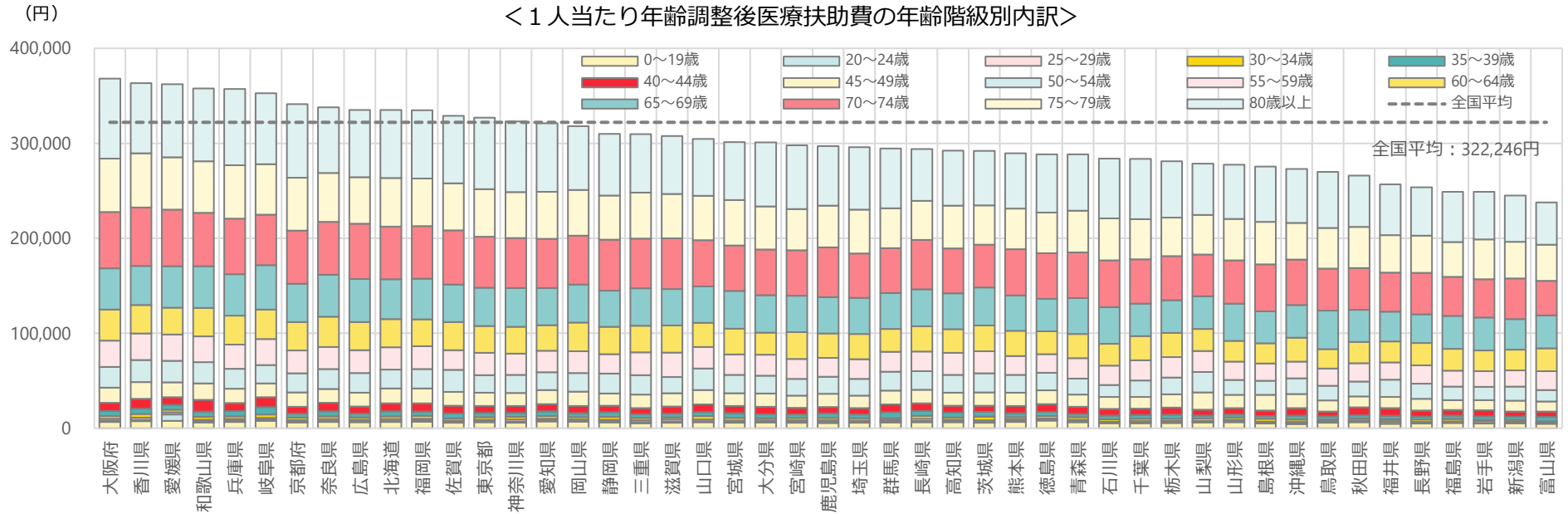
〈地域差指数の三要素別寄与度〉



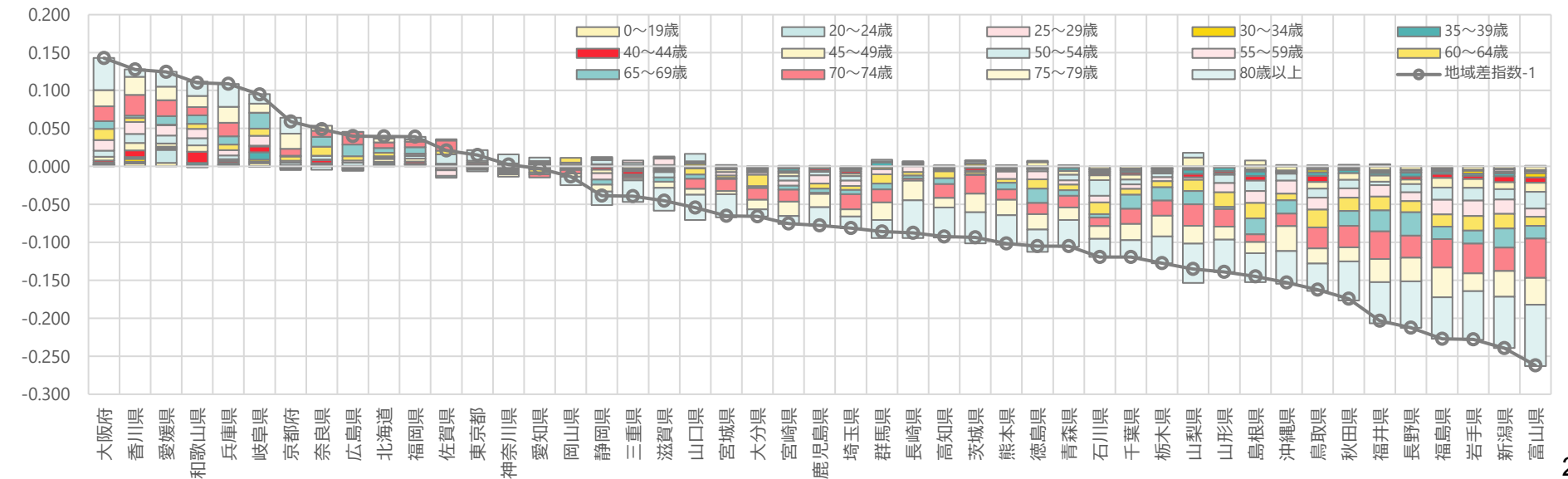
# (4) 地域差指数（入院外）に対する各種寄与度

## 図表 2-12 年齢階級別寄与度

＜1人当たり年齢調整後医療扶助費の年齢階級別内訳＞

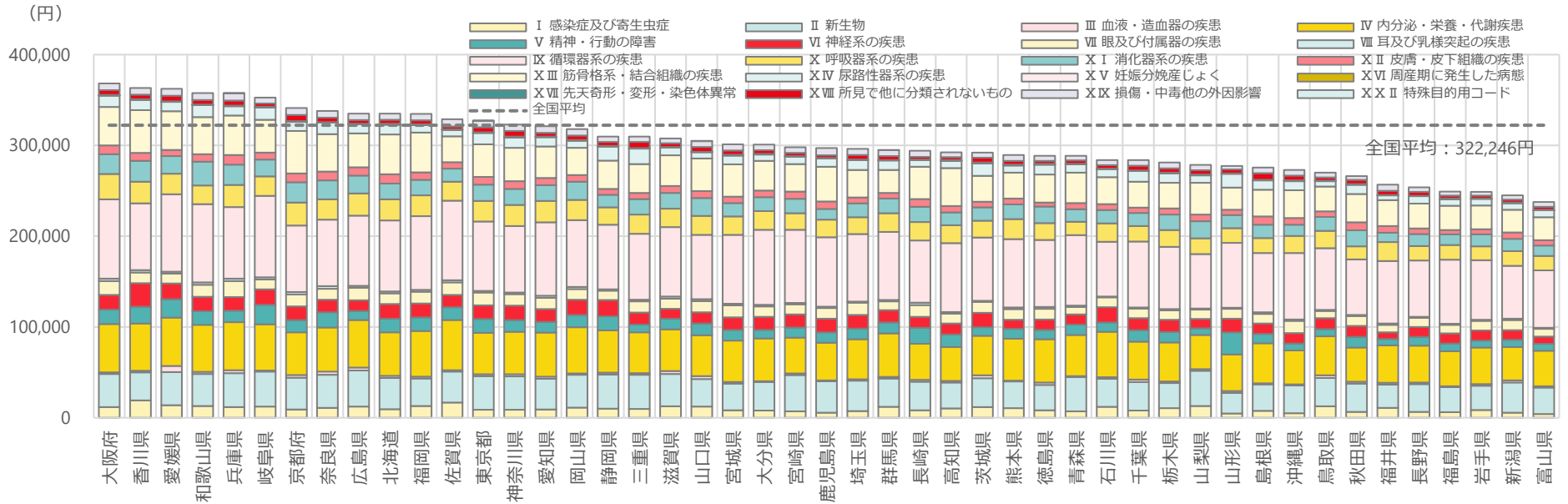


＜地域差指数の年齢階級別寄与度＞

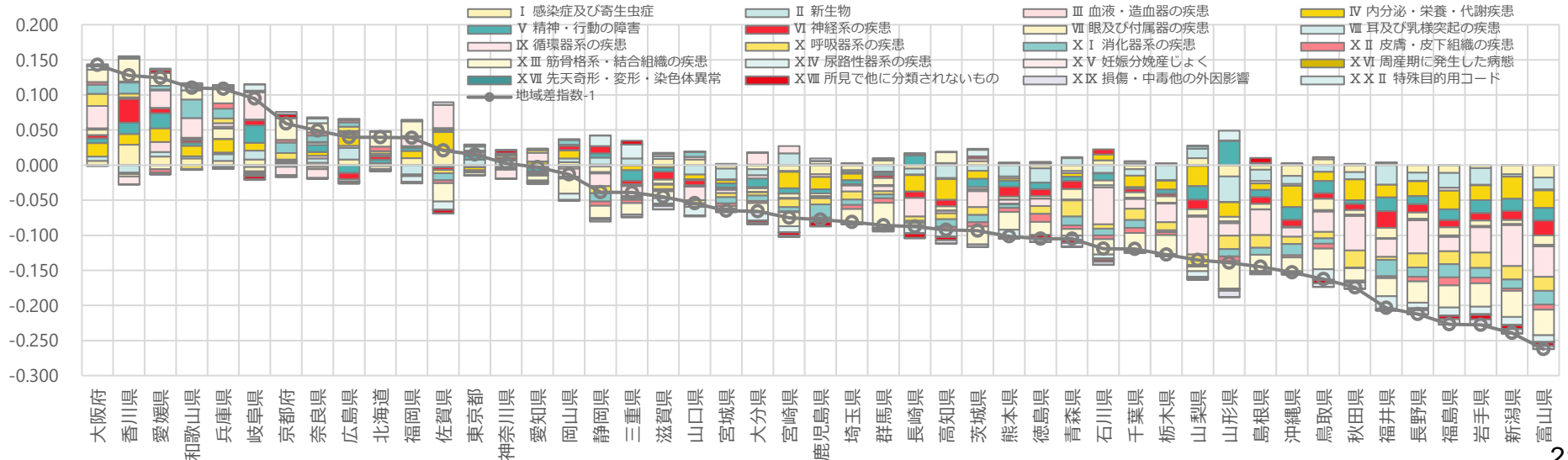


図表 2-13 疾病分類別寄与度

＜1人当たり年齢調整後医療扶助費の疾病分類別内訳＞

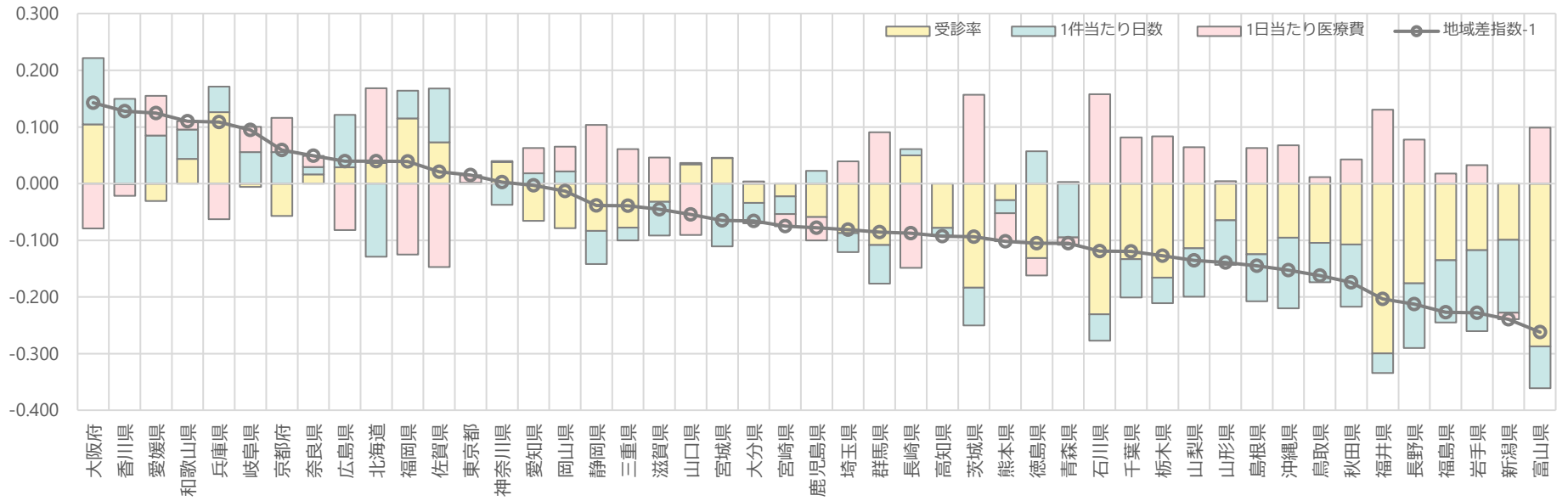


＜地域差指数の疾病分類別寄与度＞



図表 2-14 三要素別寄与度

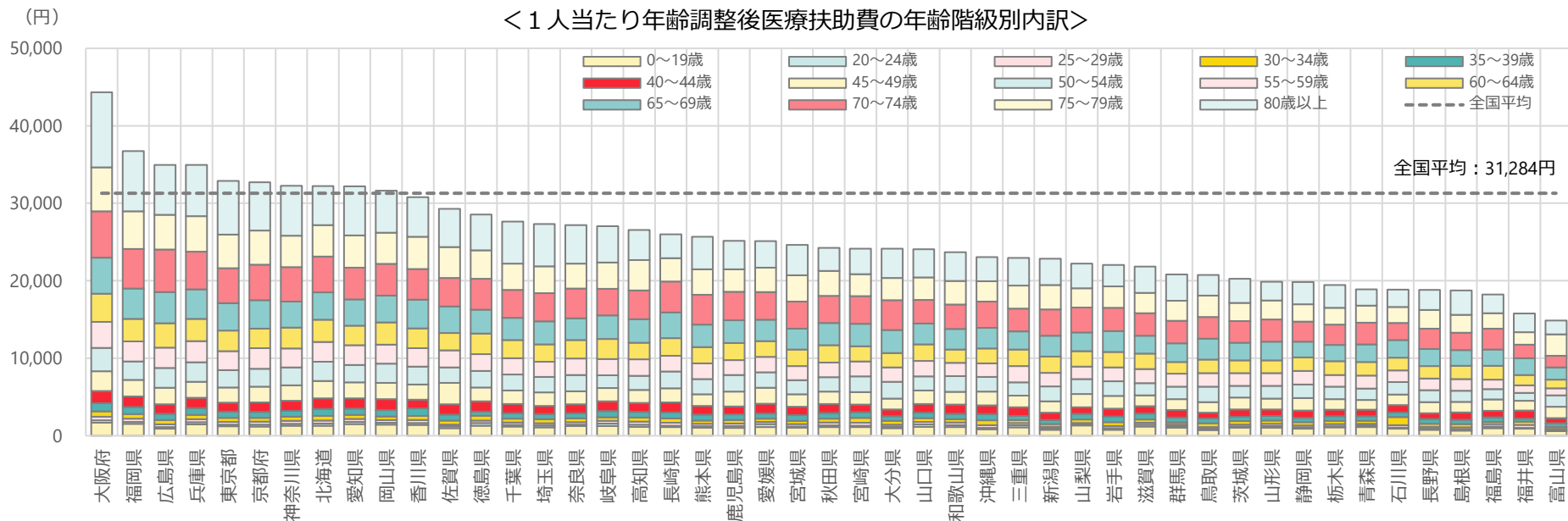
＜地域差指数の三要素別寄与度＞



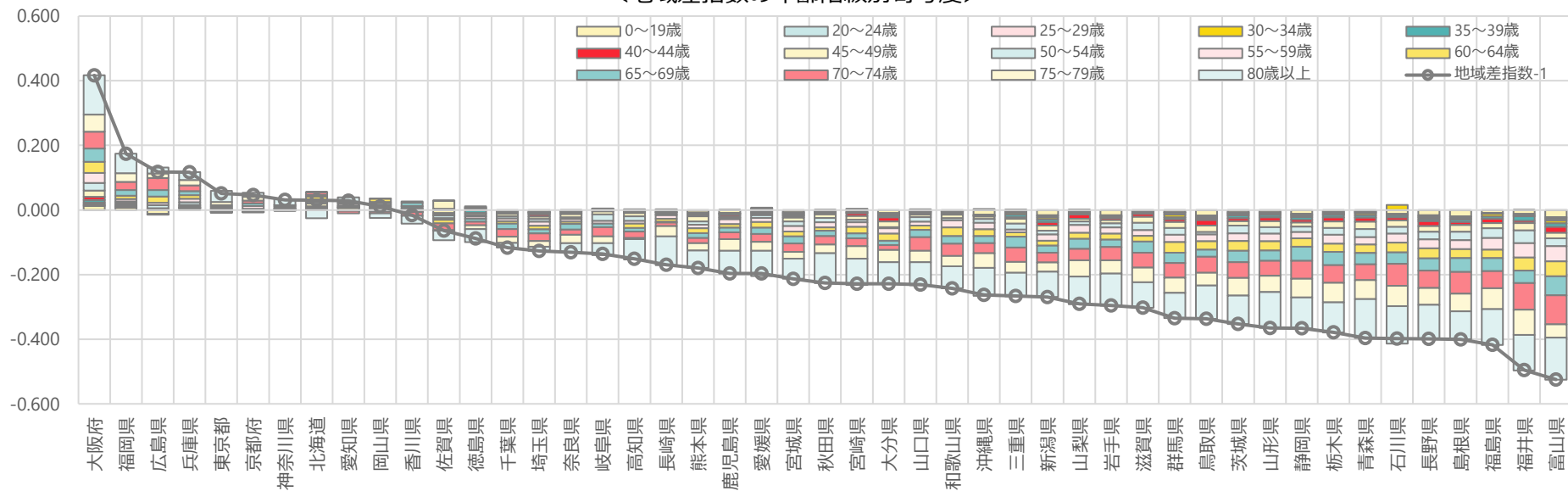
# (5) 地域差指数（歯科）に対する各種寄与度

## 図表 2-15 年齢階級別寄与度

＜1人当たり年齢調整後医療扶助費の年齢階級別内訳＞



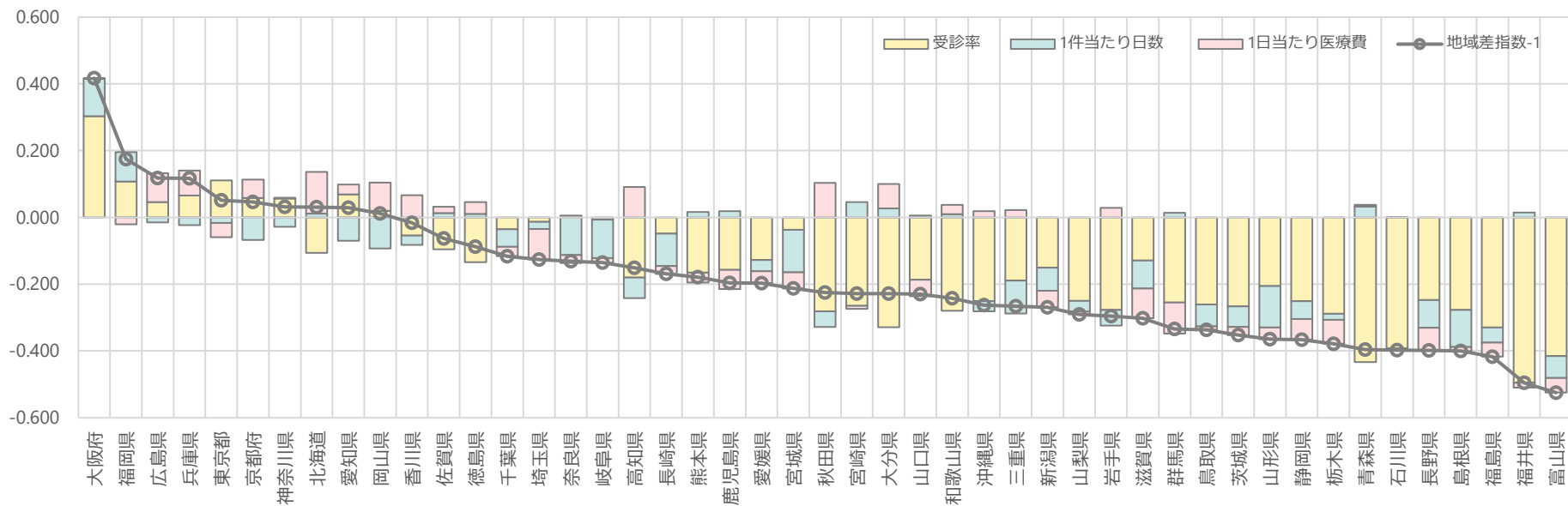
＜地域差指数の年齢階級別寄与度＞





図表 2-16 三要素別寄与度

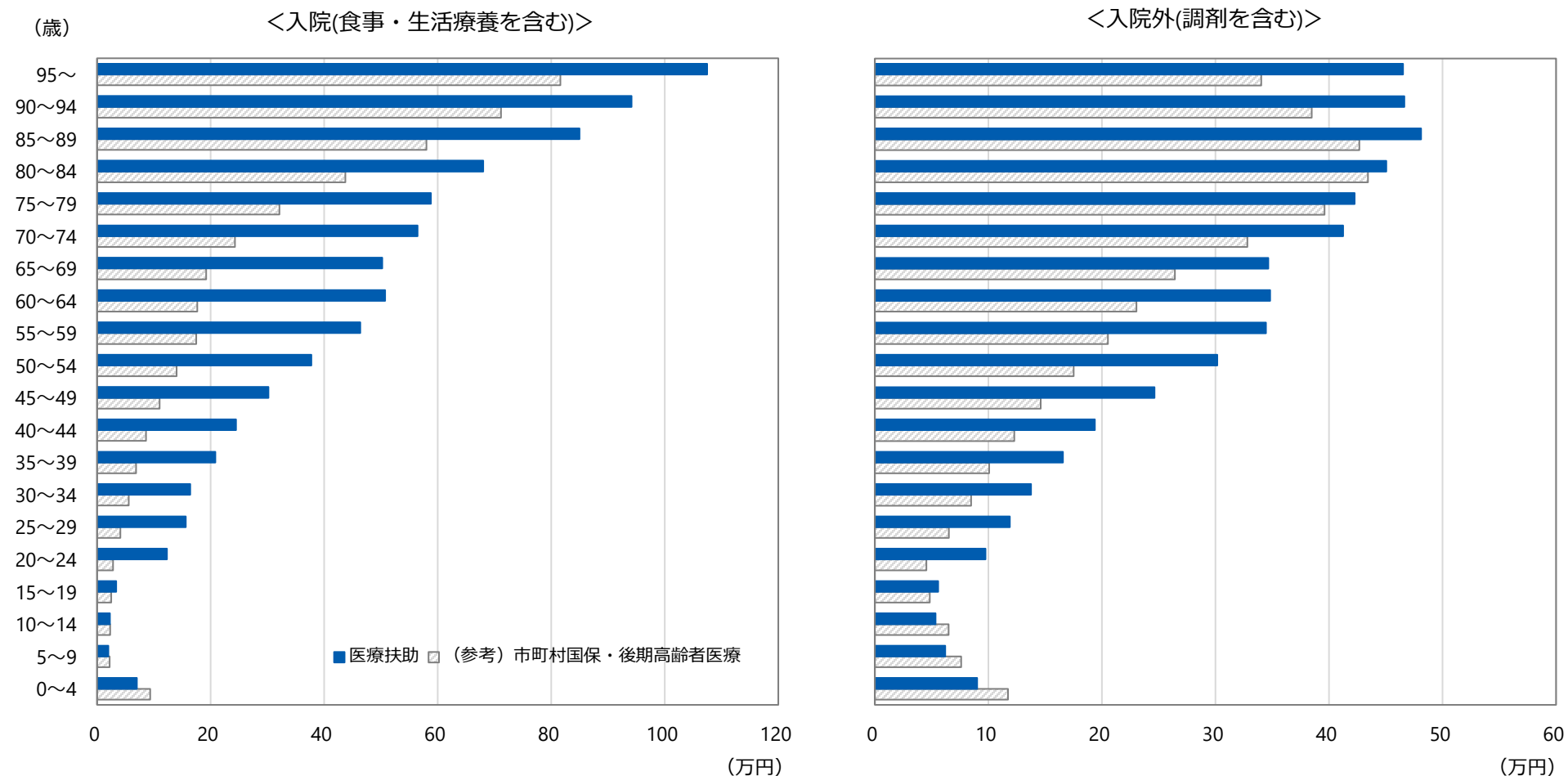
＜地域差指数の三要素別寄与度＞



### 3 公的医療保険加入者との比較

#### (1) 年齢階級別にみた1人当たり医療費（令和元年度）

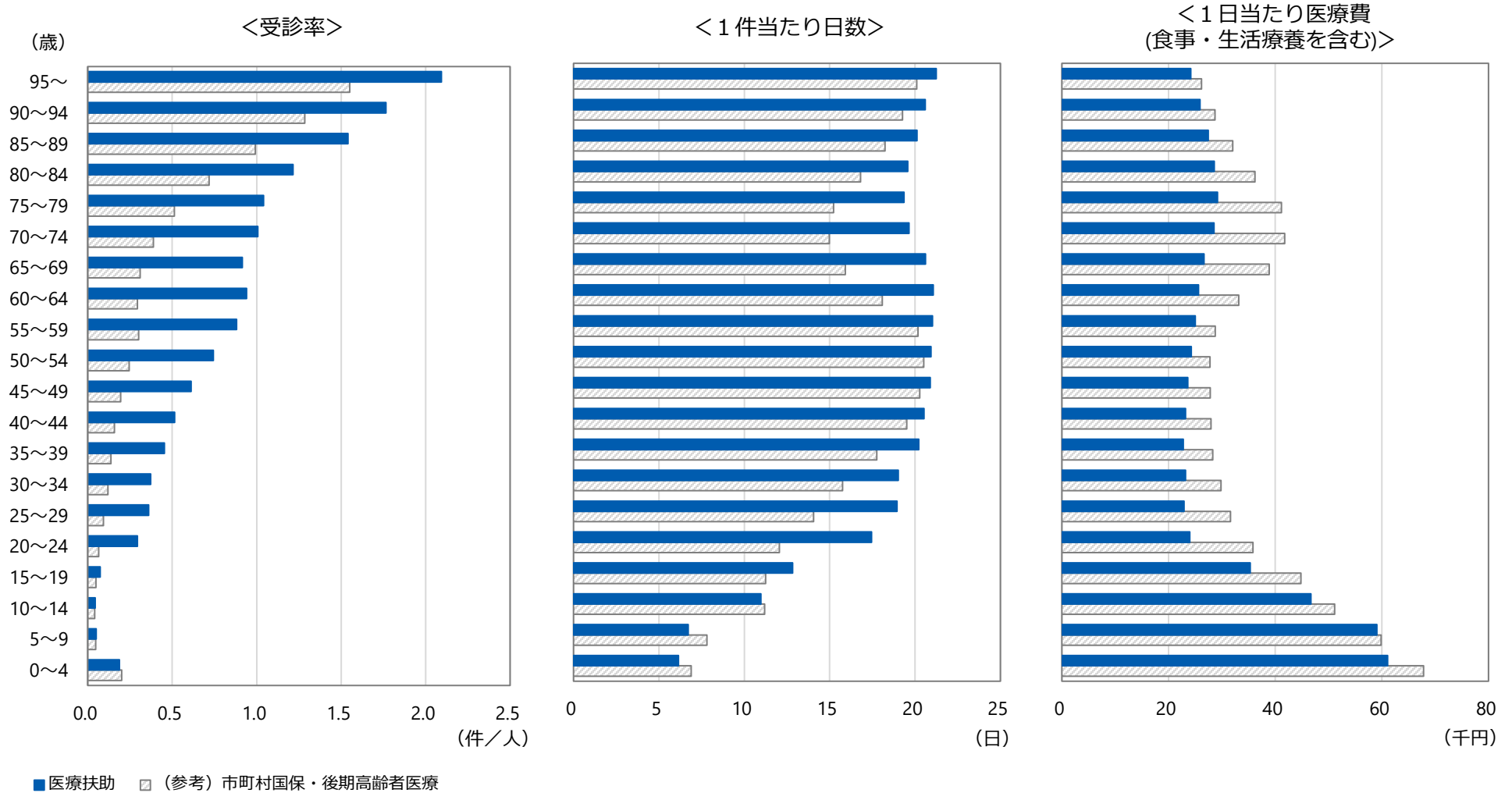
図表3-1 年齢階級別、1人当たり医療費



(出典) 市町村国保・後期高齢者医療：厚生労働省「医療費の地域差分析(令和元年度・電算処理分)」を基に、厚生労働省社会・援護局保護課保護事業室にて作図

## (2) 年齢階級別にみた三要素（入院、令和元年度）

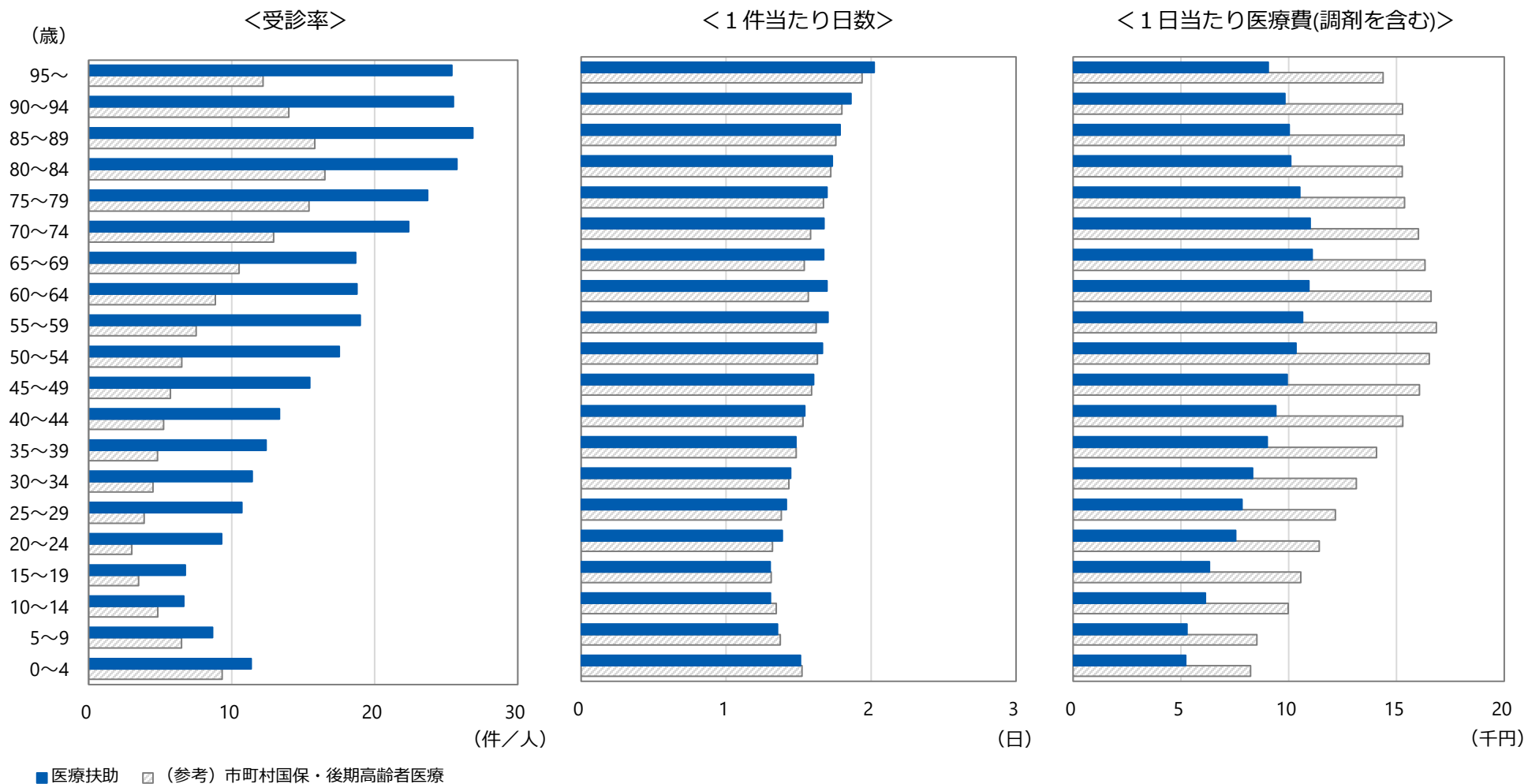
図表 3 - 2 年齢階級別、三要素（入院）



(出典) 市町村国保・後期高齢者医療は、厚生労働省「医療費の地域差分析(令和元年度・電算処理分)」を基に、厚生労働省社会・援護局保護課保護 事業室にて作図

### (3) 年齢階級別にみた三要素（入院外、令和元年度）

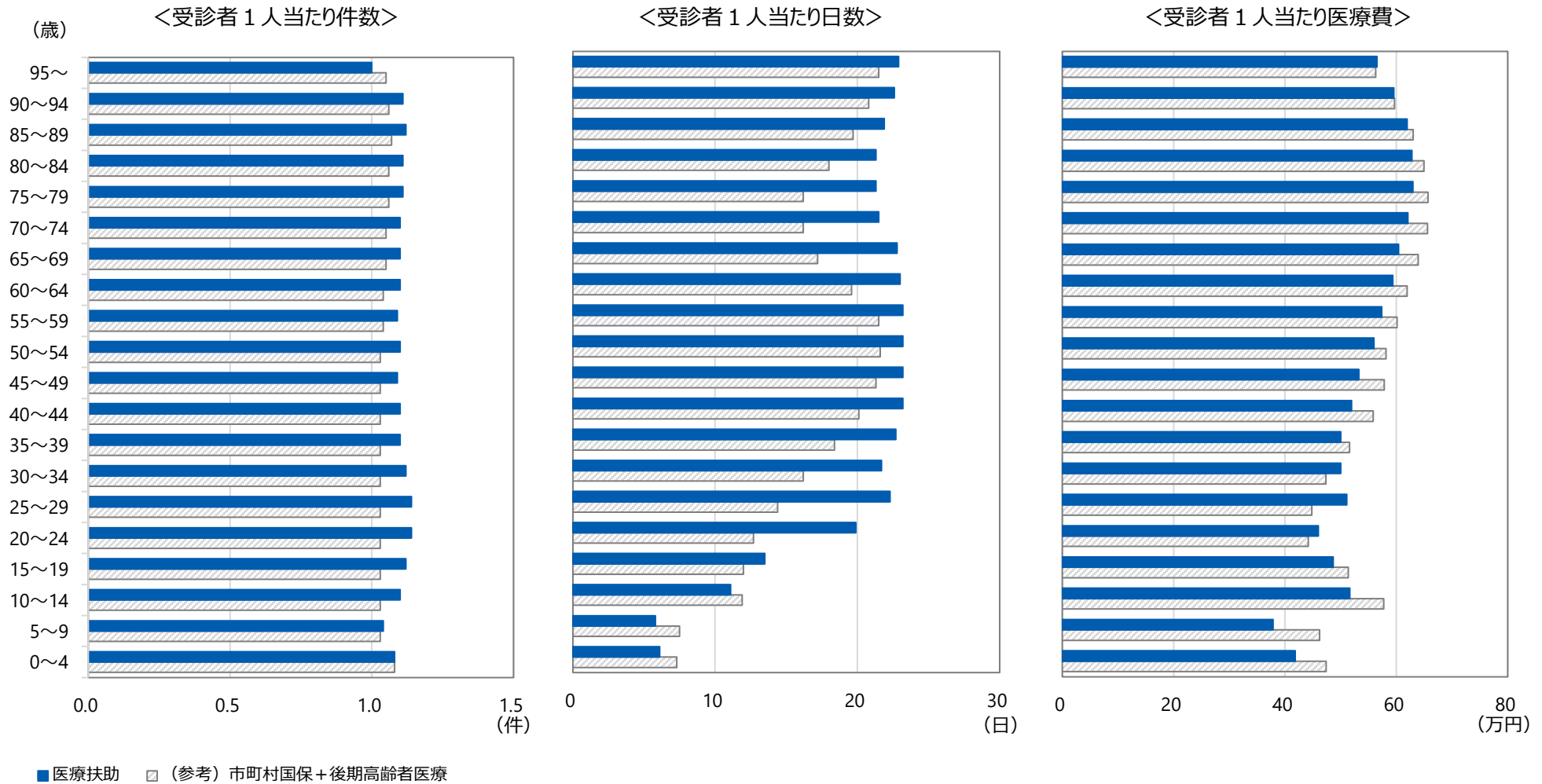
図表 3-3 年齢階級別、三要素（入院外）



(出典) 市町村国保・後期高齢者医療は、厚生労働省「医療費の地域差分析(令和元年度・電算処理分)」を基に、厚生労働省社会・援護局保護課保護 事業室にて作図

## (4) 年齢階級別にみた受診者1人当たり医療費等（入院、令和元年6月審査分）

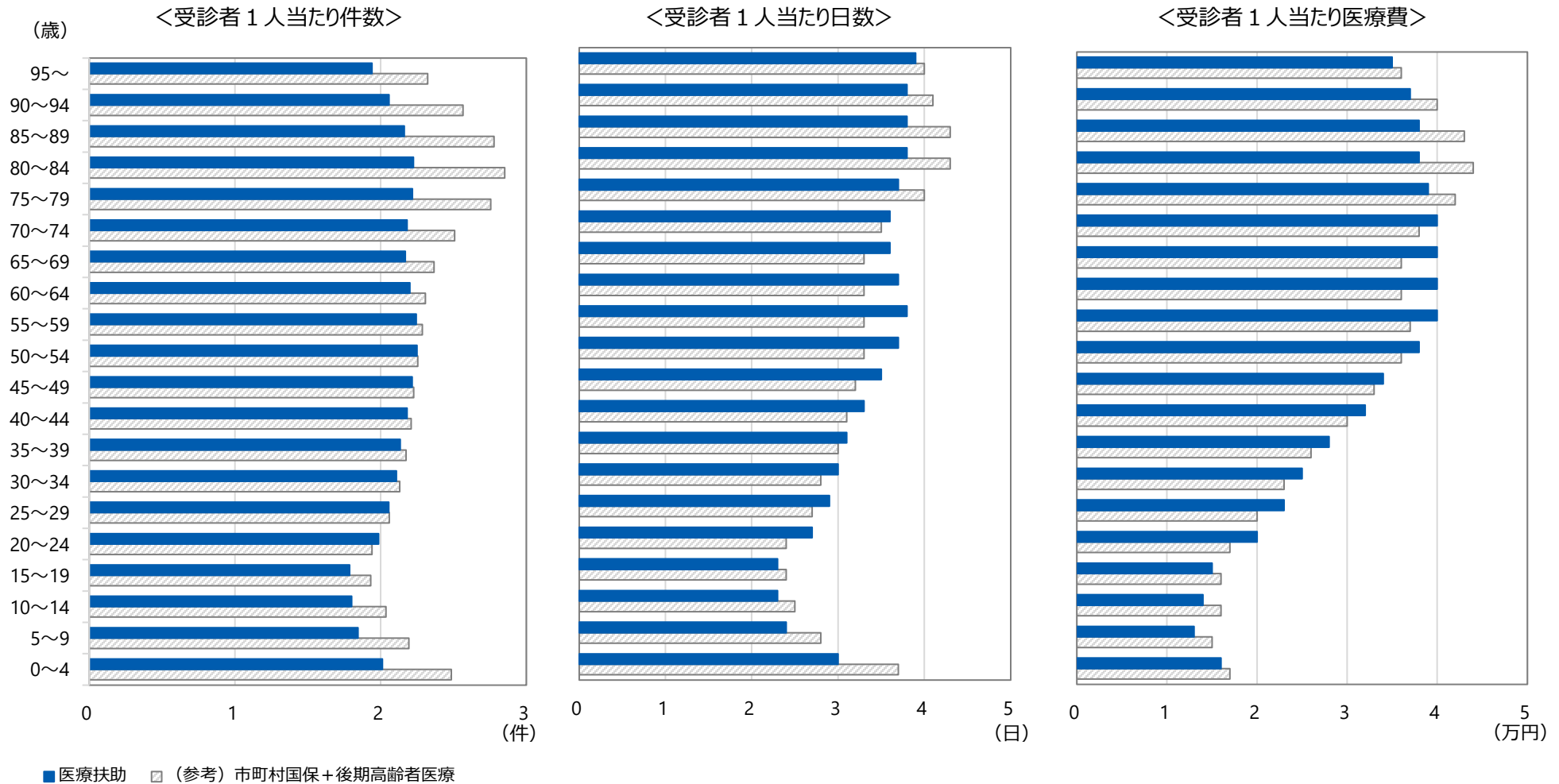
図表3-4 年齢階級別、受診者1人当たり件数・受診日数・医療費



※1 受診者1人当たり件数は、レセプト件数を受診者数で除したものの。  
 ※2 受診者1人当たり日数は、診療実日数を受診者数で除したものの。  
 ※3 受診者1人当たり医療費は、医療費を受診者数で除したものの。

## (5) 年齢階級別にみた受診者1人当たり医療費等（入院外、令和元年6月審査分）

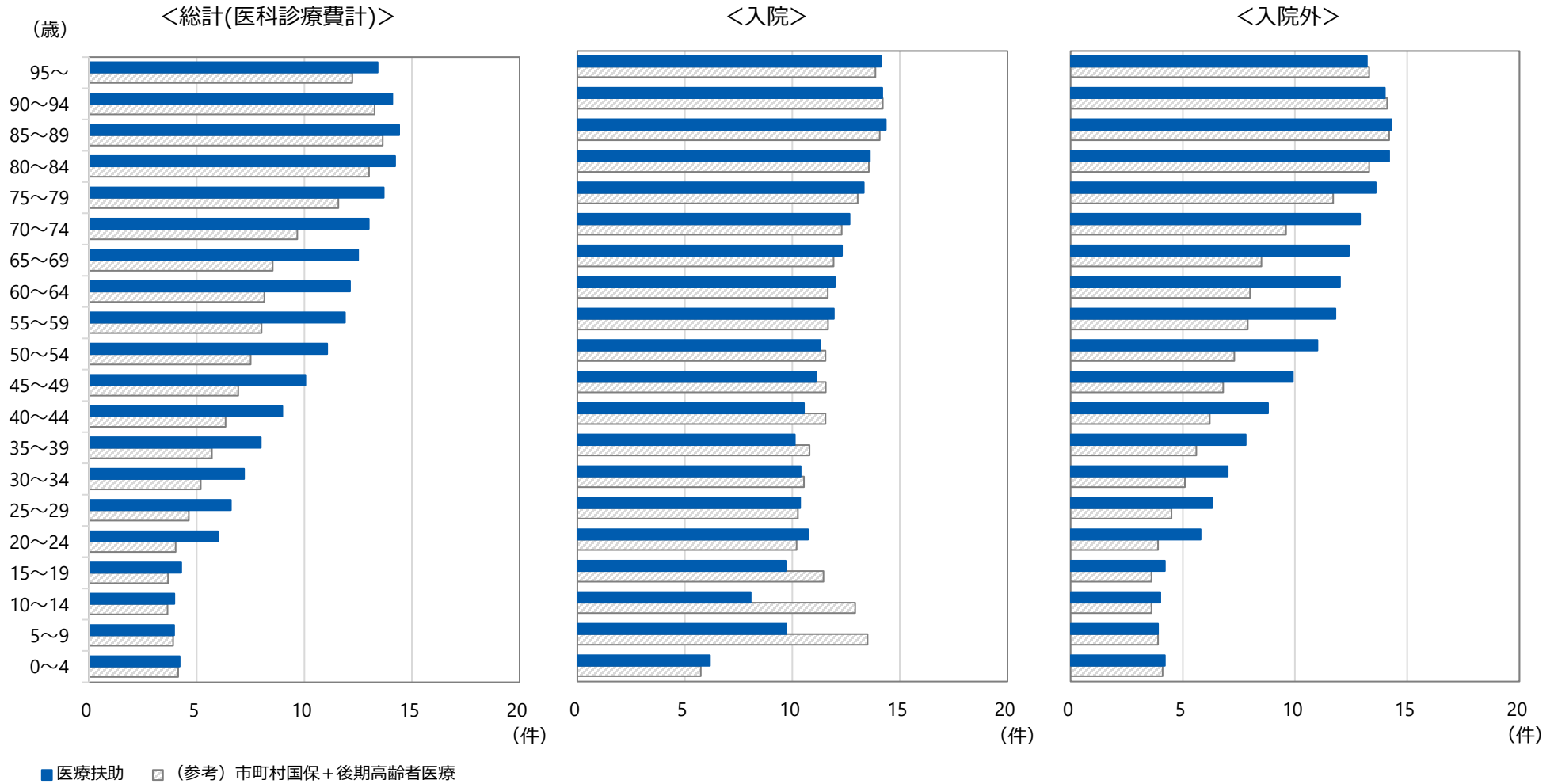
図表3-5 年齢階級別、受診者1人当たり件数・受診日数・医療費



※1 受診者1人当たり件数は、レセプト件数を受診者数で除したものの。  
 ※2 受診者1人当たり日数は、診療実日数を受診者数で除したものの。  
 ※3 受診者1人当たり医療費は、医療費を受診者数で除したものの。

## (6) 年齢階級別にみた受診者1人当たり傷病件数(令和元年6月審査分)

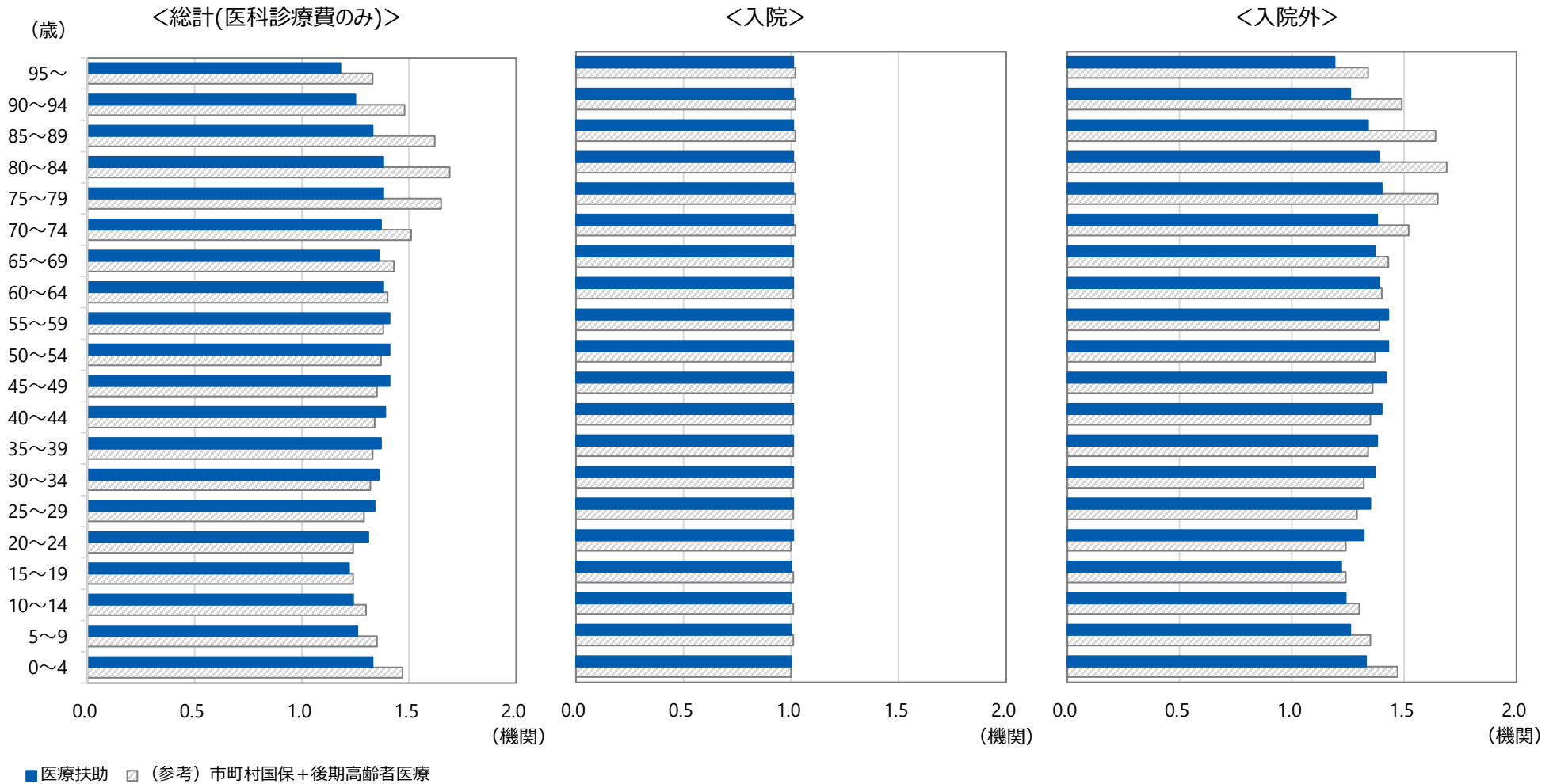
図表3-6 年齢階級別、受診者1人当たり傷病件数



※ 受診者1人当たり傷病件数は、傷病件数を受診者数で除したものの。

# (7) 年齢階級別みた受診者 1人当たり受診医療機関数 (令和元年6月審査分)

図表 3-7 年齢階級別、受診者 1人当たり受診医療機関数

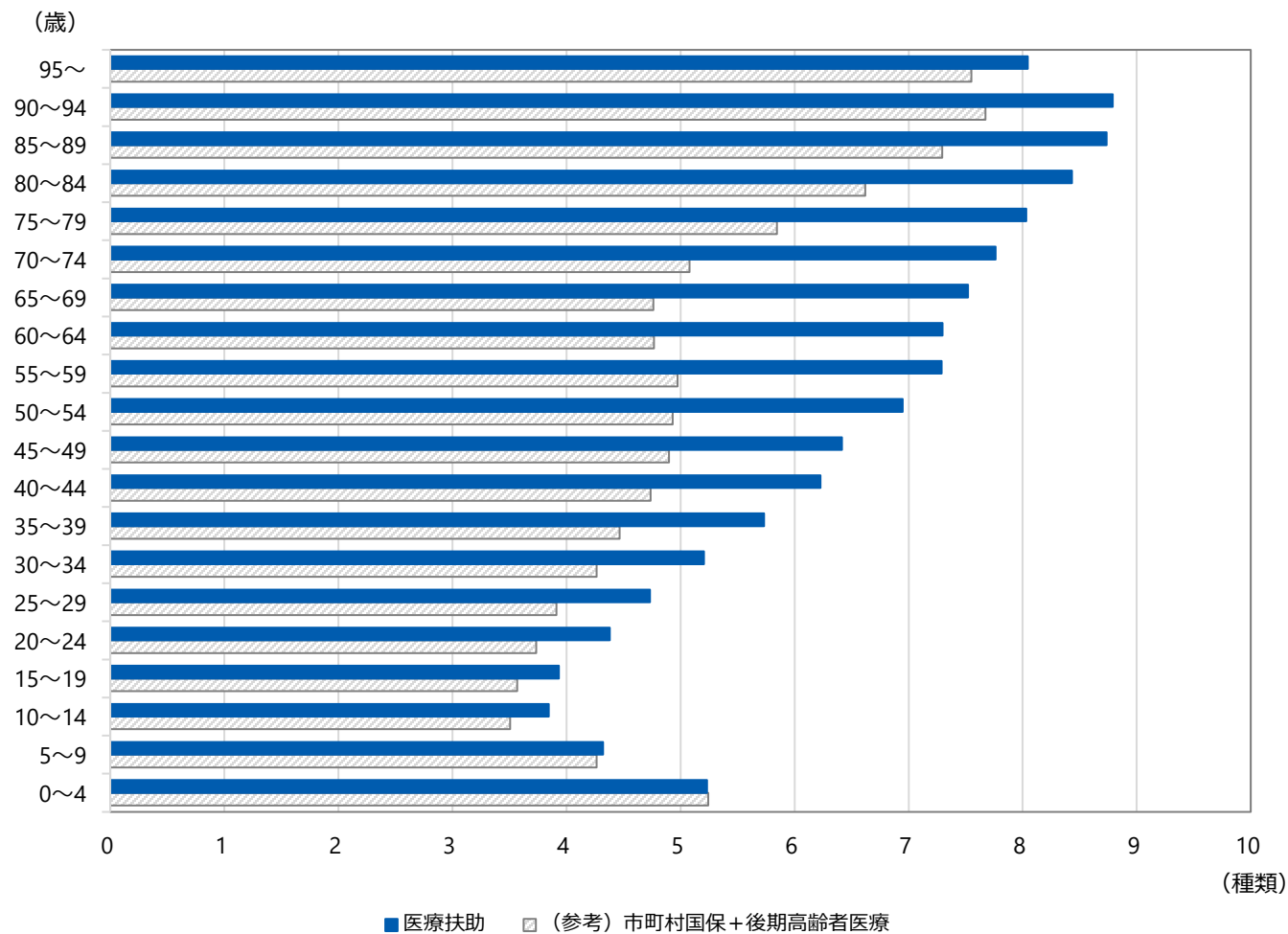


※ 受診者1人当たり受診医療機関数は、受診医療機関数を受診者数で除したものの。



## (8) 年齢階級別みた調剤薬局 1 人当たり医薬品種類数 (令和元年 6 月審査分)

図表 3 - 8 年齢階級別、調剤薬局利用者 1 人当たり医薬品種類数

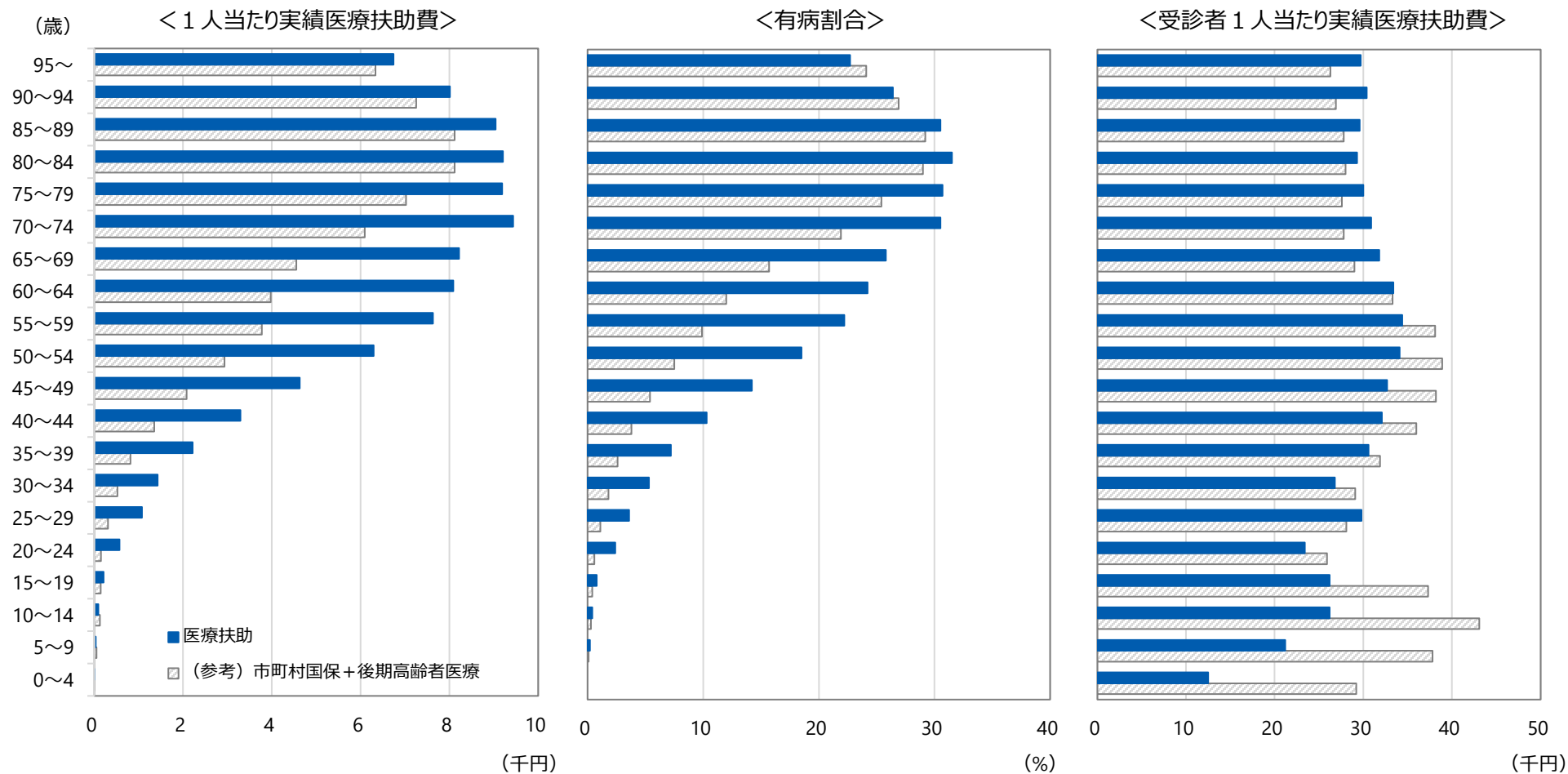


※ 調剤薬局 1 人当たり医薬品種類数は、医薬品種類数を調剤薬局の利用者数で除したものの。

## 4 3 疾患の有病状況等

### (1) 年齢階級別にみた3疾患の有病状況等

図表4-1 年齢階級別、糖尿病に係る1人当たり実績医療扶助費・有病割合

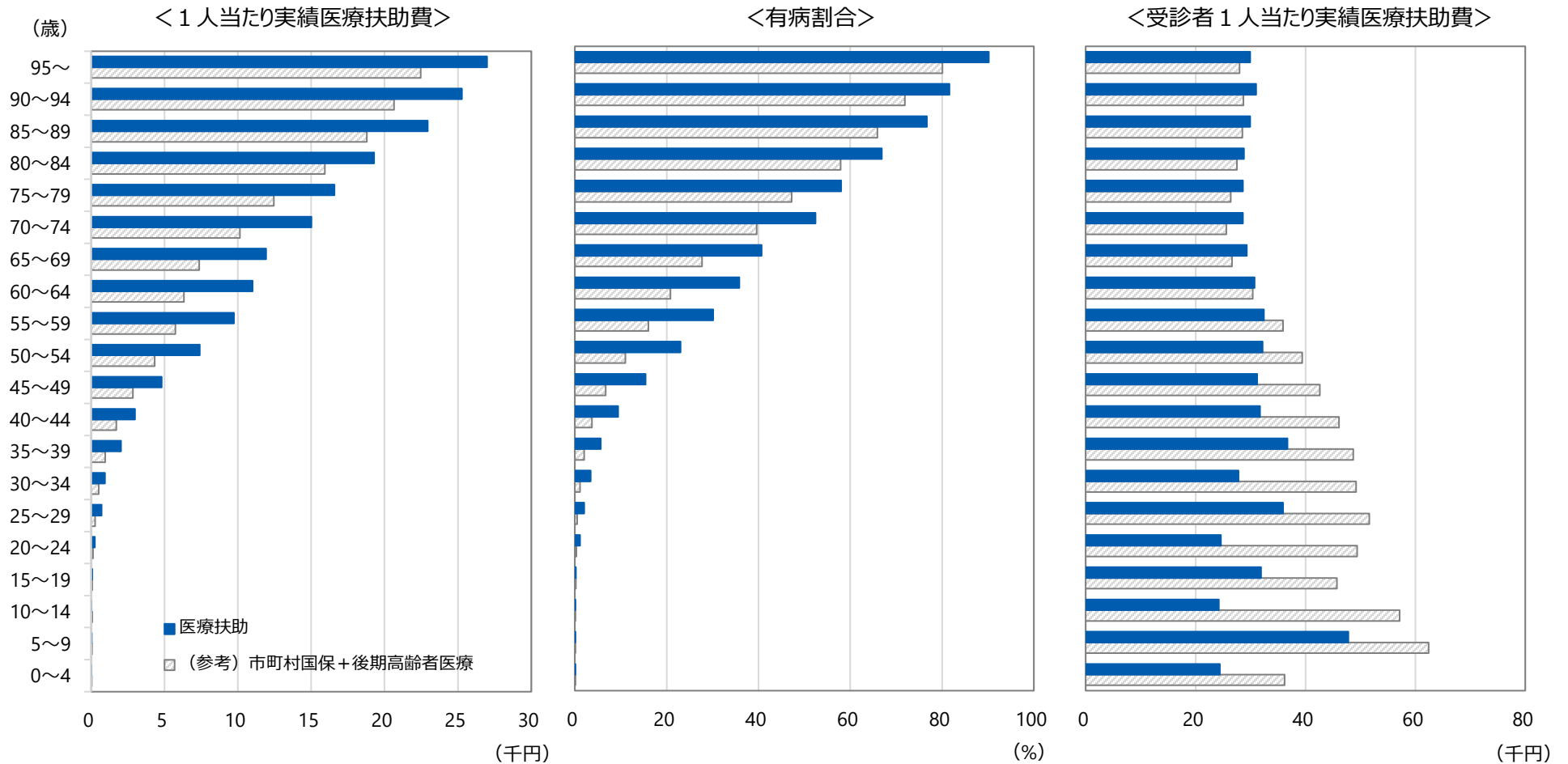


※1 1人当たり実績医療扶助費は、当該疾患に係る医療費を被保護者数(市町村国保・後期高齢者医療の場合は加入者数)で除したものの。

※2 有病割合は、当該疾患の受診者を被保護者数(市町村国保・後期高齢者医療の場合は加入者数)で除したものの。

※3 受診者1人当たり実績医療扶助費は、当該疾患の医療扶助費を当該レセプトの受診者数で除したものの。

図表 4 - 2 年齢階級別、高血圧症に係る 1 人当たり実績医療扶助費・有病割合

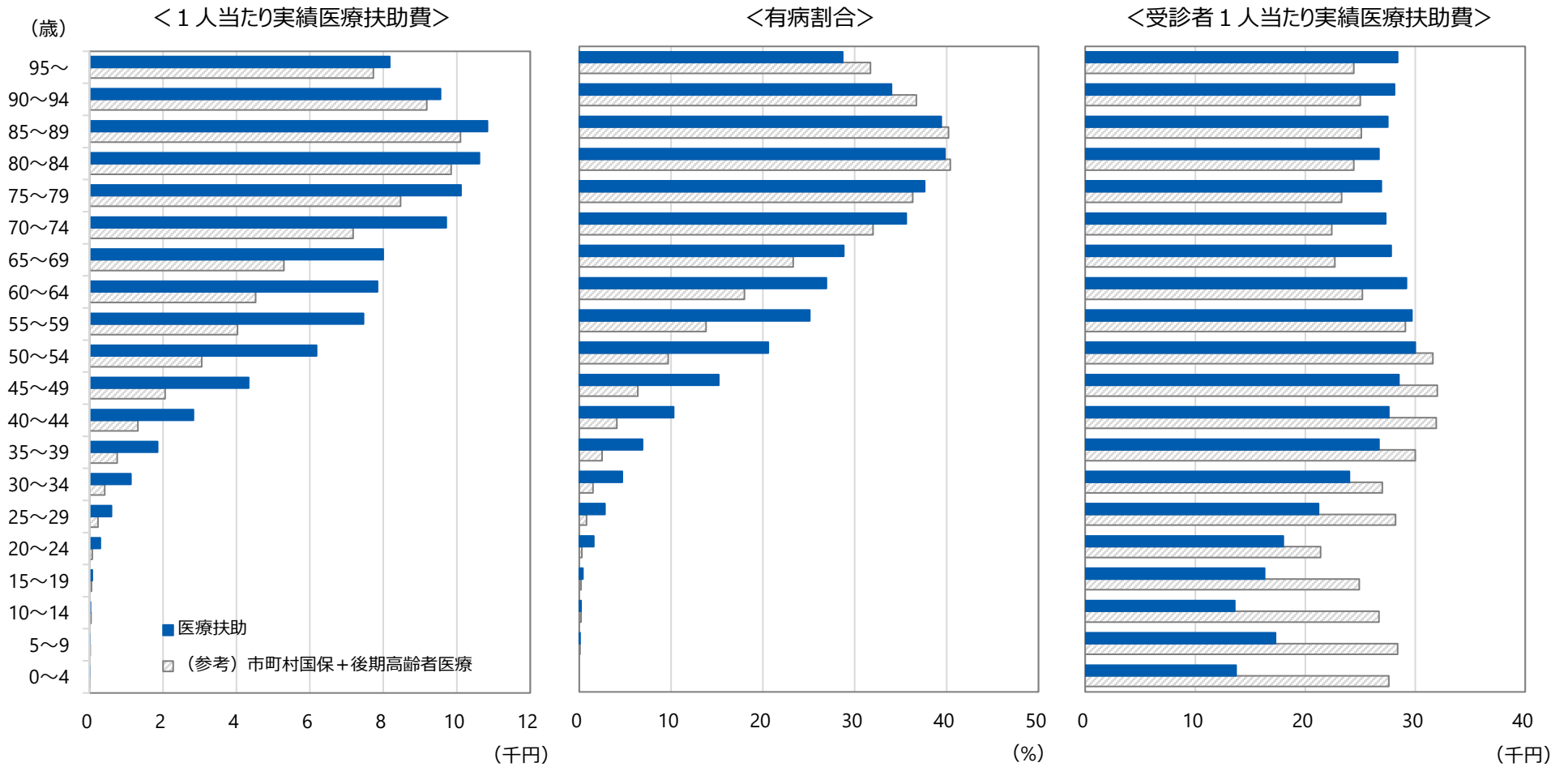


※ 1 1人当たり実績医療扶助費は、当該疾患に係る医療費を被保護者数(市町村国保・後期高齢者医療の場合は加入者数)で除したものの。

※ 2 有病割合は、当該疾患の受診者を被保護者数(市町村国保・後期高齢者医療の場合は加入者数)で除したものの。

※ 3 受診者 1人当たり実績医療扶助費は、当該疾患の医療扶助費を当該レセプトの受診者数で除したものの。

図表 4 - 3 年齢階級別、脂質異常症に係る 1 人当たり実績医療扶助費・有病割合



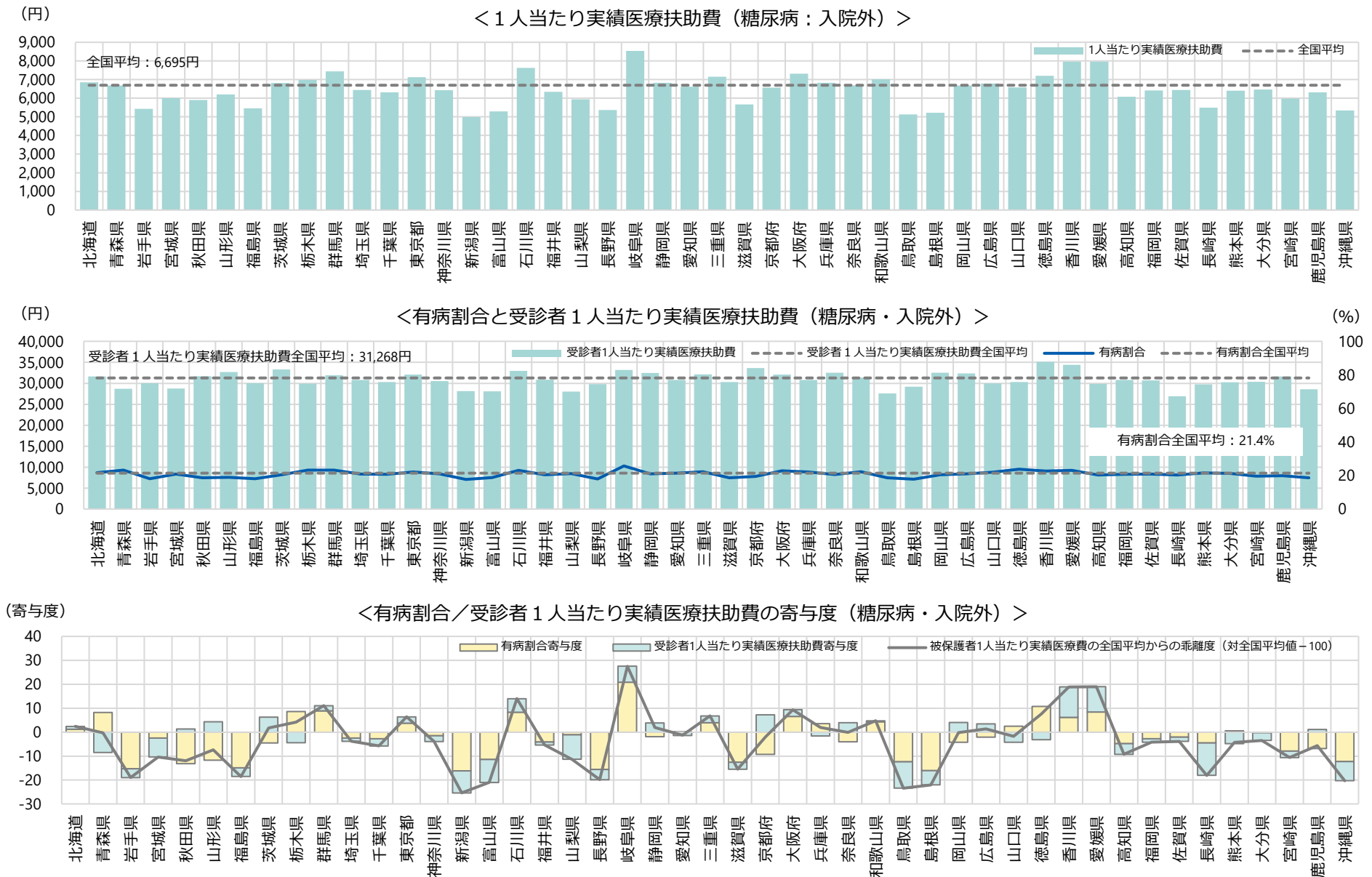
※ 1 1人当たり実績医療扶助費は、当該疾患に係る医療費を被保護者数(市町村国保・後期高齢者医療の場合は加入者数)で除したものの。

※ 2 有病割合は、当該疾患の受診者を被保護者数(市町村国保・後期高齢者医療の場合は加入者数)で除したものの。

※ 3 受診者1人当たり実績医療扶助費は、当該疾患の医療扶助費を当該レセプトの受診者数で除したものの。

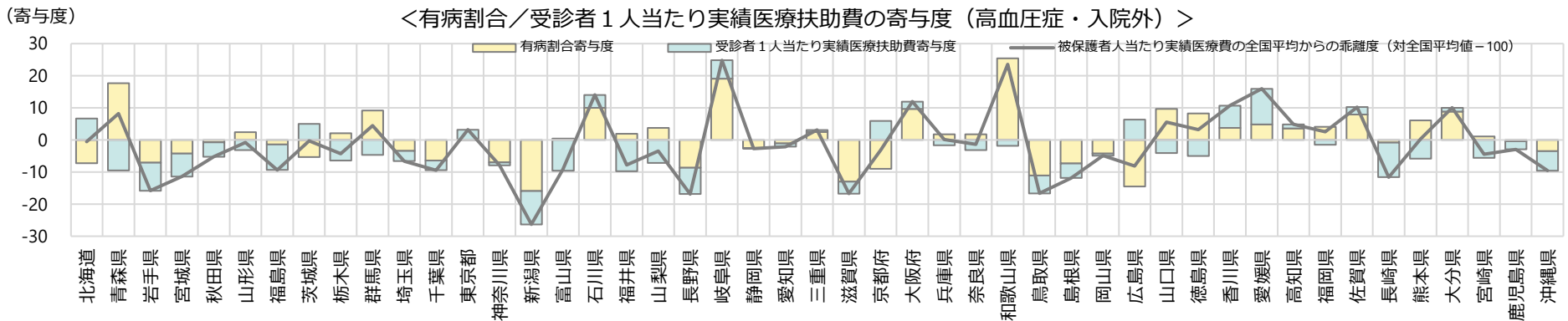
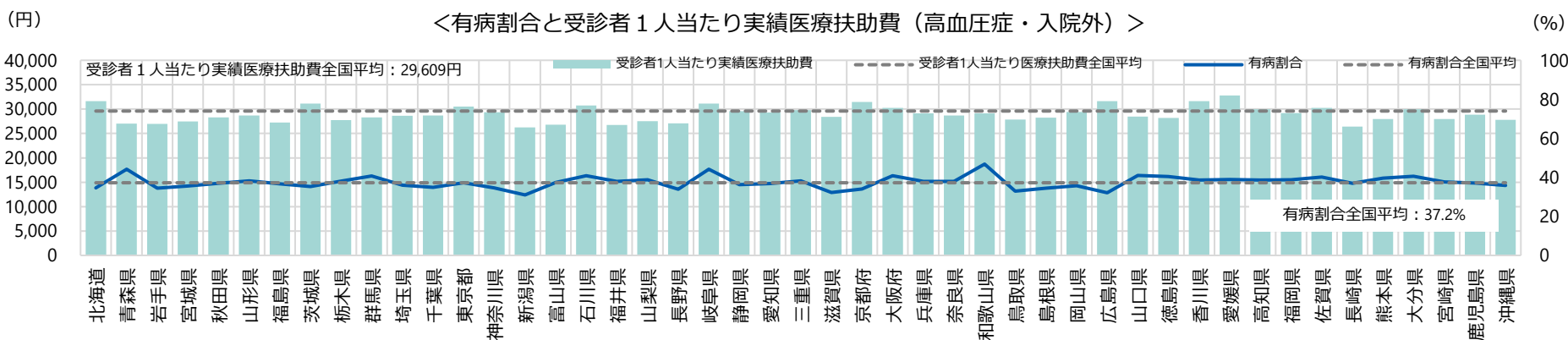
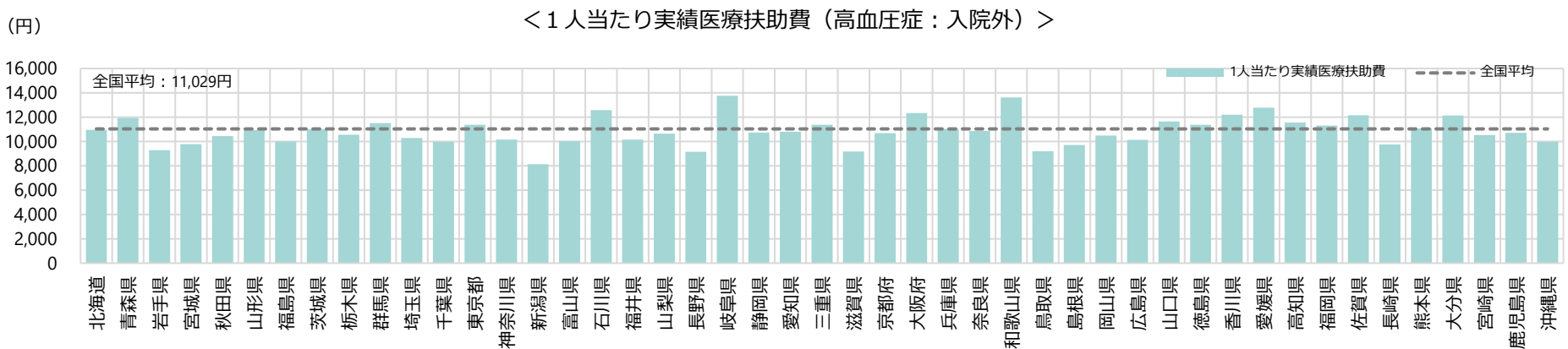
## (2) 都道府県別にみた3疾患の有病状況等

図表4-4 都道府県別、糖尿病に係る1人当たり実績医療扶助費・有病割合



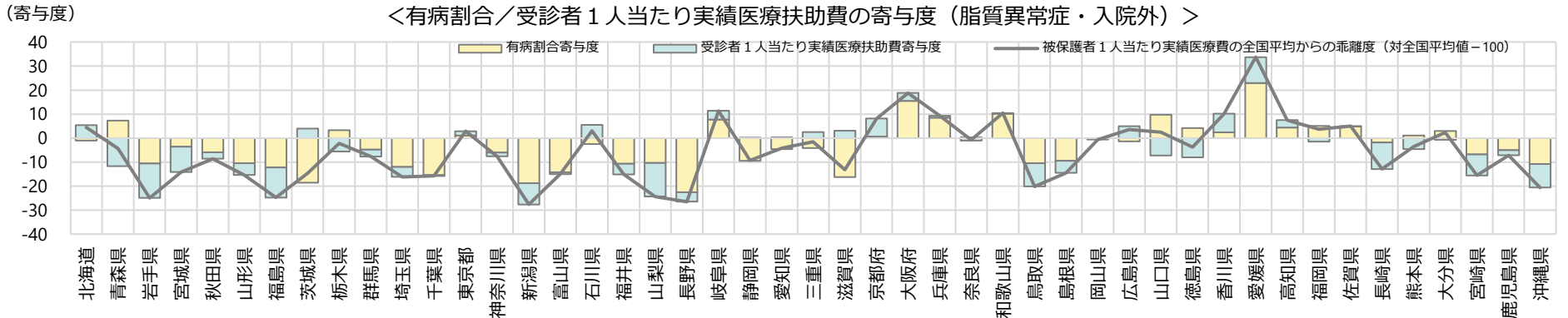
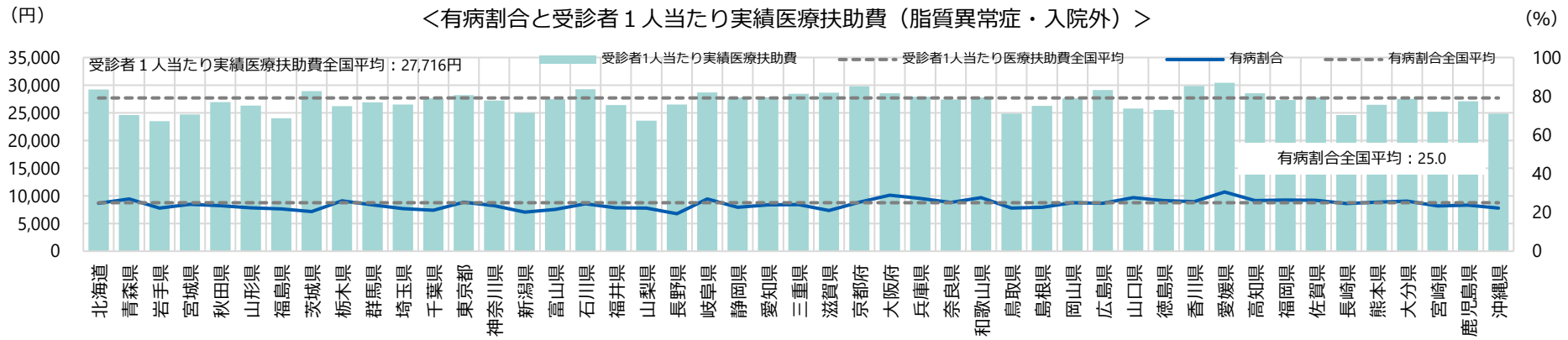
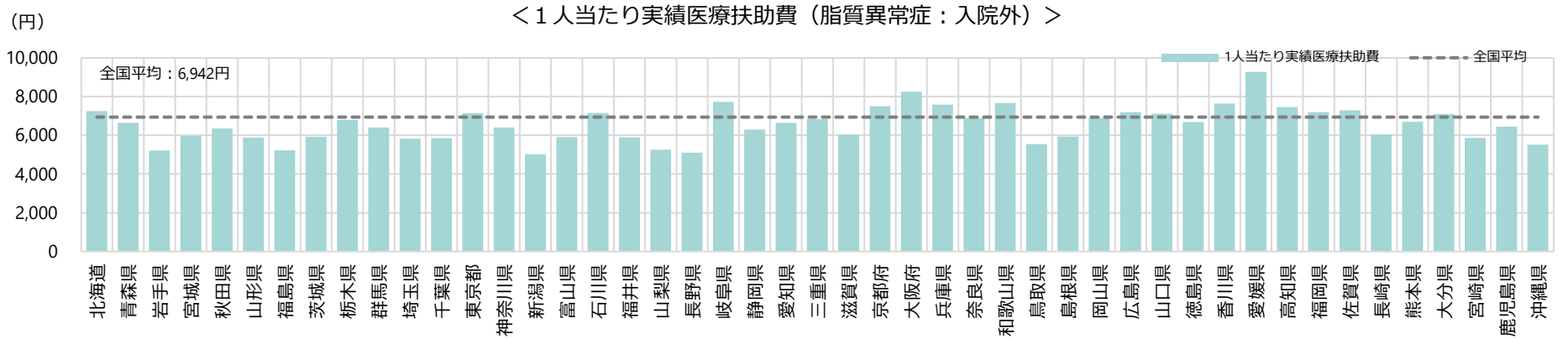
※1 1人当たり実績医療扶助費は、当該疾患に係る医療費を被保護者数で除したもの。  
 ※2 有病割合は、当該疾患の受診者数を被保護者数で除したものの。  
 ※3 受診者1人当たり実績医療扶助費は、当該疾患の医療扶助費を当該レセプトの受診者数で除したものの。

図表4-5 都道府県別、高血圧症に係る1人当たり実績医療扶助費・有病割合



※1 1人当たり実績医療扶助費は、当該疾患に係る医療費を被保護者数で除したものの。  
 ※2 有病割合は、当該疾患の受診者数を被保護者数で除したものの。  
 ※3 受診者1人当たり実績医療扶助費は、当該疾患の医療扶助費を当該レセプトの受診者数で除したものの。

図表4-6 都道府県別、脂質異常症に係る1人当たり実績医療扶助費・有病割合



※1 1人当たり実績医療扶助費は、当該疾患に係る医療費を被保護者数で除したものの。  
 ※2 有病割合は、当該疾患の受診者数を被保護者数で除したものの。  
 ※3 受診者1人当たり実績医療扶助費は、当該疾患の医療扶助費を当該レセプトの受診者数で除したものの。